

令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

部 外 局

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

< 総括表 >

（一般会計）

（単位：千円） （出納局）

局名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
出納局	336,803	310,939	0	15,098	0	295,841	

< 主なものの概要 >

（一般会計）

（単位：千円） （出納局）

事項名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				概要説明（全体計画を含む）
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
出納事務 取扱費	255,701	231,884	0	0	0	231,884	地方自治法、収入証紙条例、財務規則等に基づく会計事務の審査・指導、公金機関の指定・検査、収入証紙の売りさばき、キャッシュレス決済の推進に要する経費
出納管理費	66,640	64,955	0	1,008	0	63,947	給与・旅費事務の集中管理及び物品の購入事務に要する経費
工事検査費	14,452	14,090	0	14,090	0	0	地方自治法第234条の2に基づく重要な県営工事及び補助工事の検査の実施に要する経費

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

< 総括表 >

（一般会計）

（単位：千円）（議会事務局）

局名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
議会事務局	2,145,134	2,152,895	0	3,708	0	2,149,187	

< 主なものの概要 >

（一般会計）

（単位：千円）（議会事務局）

事項名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				概要説明（全体計画を含む）
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
議会運営費	560,618	555,638	0	0	0	555,638	地方自治法の規定による定例会の招集、事務に関する調査、政務活動費の交付等議会運営に要する経費
委員会 運営費	35,675	35,820	0	0	0	35,820	地方自治法の規定による常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会等の運営に要する経費
議会事務局 運営費	193,913	195,521	0	3,708	0	191,813	地方自治法の規定による議会事務局運営に要する経費 1 県議会広報紙「県議会だより」発行費 100,100

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

< 総括表 >

（一般会計）

（単位：千円）（監査委員事務局）

局 名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
監査委員事務局	24,713	26,177	0	0	0	26,177	

< 主なものの概要 >

（一般会計）

（単位：千円）（監査委員事務局）

事 項 名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明（全体計画を含む）
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
監査委員 事務局運営費	18,593	20,057	0	0	0	20,057	地方自治法の規定による定期監査等の監査、 例月現金出納検査、決算審査等、監査委員の 職務執行に要する経費

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

< 総括表 >

（一般会計）

（単位：千円）（人事委員会事務局）

局名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
人事委員会事務局	31,610	30,378	0	10	0	30,368	

< 主なものの概要 >

（一般会計）

（単位：千円）（人事委員会事務局）

事項名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				概要説明（全体計画を含む）
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
人事委員会 事務局運営費	24,650	23,418	0	10	0	23,408	地方自治法第202条の2及び地方公務員法第8条の規定により行う人事行政に関する調査、研究、勧告、職員の競争試験及び選考の実施並びに職員の勤務条件に関する措置要求及び職員に対する不利益処分の審査等人事委員会の運営に要する経費

令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

総 務 部

令和5年度重要施策体系表



【総務部】

(単位：千円)

県民ボトムアップ型県政の推進 (545,922)	県民とのコミュニケーションの充実 (88,432)	県民との対話の充実	(1,200)
		県民の県政参画機会の充実	(87,232)
	県民目線での効果的な情報発信 (457,490)	戦略的な広報活動の推進	(154,076)
		全庁広報力の充実強化	(303,414)
持続可能な行財政基盤の確立 (4,409,555)	市町が行財政基盤確立への支援 (4,409,555)	県と市町の連携推進	(317,727)
		市町の自律的運営への支援	(3,839,843)
		社会保障・税番号制度の推進	(251,985)
県政を支える職員の養成と新しい働き方の推進 (445,306)	適正な人事管理と働きやすい職場づくり (445,306)	人材育成等の推進	(99,691)
		新しい働き方の推進	(0)
		職員の健康管理の推進	(345,615)
県有財産の有効活用と県政情報の公開等の推進 (4,790,598)	県有財産の適正管理と有効活用 (4,559,800)	公共施設等の適正管理の推進	(4,509,205)
		県有財産の有効活用	(50,595)
	公文書の管理・県政情報の公開等の推進 (230,798)	適正かつ効率的な公文書の管理の推進	(187,781)
		県政情報の公開等の推進	(43,017)
元町地域の活性化の推進 (44,379)	元町地域の魅力向上の推進 (44,379)	元町周辺再整備グランドデザイン等の検討	(44,379)
兵庫の個性と特色を生かした教育の振興 (42,978,323)	私立学校教育の振興 (33,598,728)	私立学校の運営支援	(22,528,207)
		私立学校生徒の就学支援の推進	(9,591,780)
		少子対策への支援	(1,478,741)
	兵庫県公立大学法人への運営支援 (9,328,241)	県立大学運営への支援	(8,421,875)
		専門職大学運営への支援	(906,366)
		高等教育無償化への取組	(0)
県内大学との連携強化 (51,354)	県内大学との連携・大学間交流の促進	(51,354)	

令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳																	
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源														
県民目線での効果的な情報発信	<p>1 戦略的な広報活動の推進（154,076千円）</p> <p>(1) トップセールスによる情報発信の強化 県民に県政情報を的確に分かりやすく伝えるとともに、県の魅力を内外に強力に発信するため、知事定例記者会見でのモニター活用やライブ配信に加え、会議、視察などを可能な限り公開するほか、会議後の囲み取材等、報道機関からの取材に積極的に対応する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>知事定例記者会見の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>視察時の取材対応 (水緑ステーション)</p> </div> </div> <p>(2) 効果的な広報媒体の活用 テレビやラジオ、広報紙等の既存媒体の活用を継続するほか、デジタル媒体等時流を捉えた広報手法を活用し、県の魅力を発信する。また、生徒・学生など若者を巻き込んだ広報企画としてテレビ番組とSNS等のメディアミックスによる情報発信に取り組むなど、各媒体の強みを活かして、各世代に向け効果的に情報を発信する。</p> <p>【主な広報媒体の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">媒体名</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙 県民だよりひょうご</td> <td>毎月発行の特性を生かし、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力、イベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信</td> </tr> <tr> <td>テレビ 県民情報番組 「ひょうご発信！」</td> <td>身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく、分かりやすく紹介する情報番組を提供</td> </tr> <tr> <td>ラジオ 兵庫県情報コーナー 「GO! HYOGO！」</td> <td>番組に知事のゲスト出演など、県政課題やタイムリーな話題、地域の魅力を発信</td> </tr> <tr> <td>インターネット HP、SNS (Twitter、Facebook、Instagram)</td> <td>速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信</td> </tr> </tbody> </table> <p>【生徒・学生と創る兵庫魅力発信企画の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">趣 旨</td> <td>若者の県政への関心を高め、シビックプライドの構築を目指すため、若者を巻き込み県の魅力を発信</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>テーマに沿って兵庫の魅力を広報する企画を高校生など若者と一緒を考え、SNS等で発信するとともに、その取り組みをTV番組で紹介</td> </tr> </tbody> </table>	媒体名	概 要	広報紙 県民だよりひょうご	毎月発行の特性を生かし、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力、イベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信	テレビ 県民情報番組 「ひょうご発信！」	身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく、分かりやすく紹介する情報番組を提供	ラジオ 兵庫県情報コーナー 「GO! HYOGO！」	番組に知事のゲスト出演など、県政課題やタイムリーな話題、地域の魅力を発信	インターネット HP、SNS (Twitter、Facebook、Instagram)	速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信	趣 旨	若者の県政への関心を高め、シビックプライドの構築を目指すため、若者を巻き込み県の魅力を発信	事業内容	テーマに沿って兵庫の魅力を広報する企画を高校生など若者と一緒を考え、SNS等で発信するとともに、その取り組みをTV番組で紹介	457,490	0	24,938	0	432,552
媒体名	概 要																			
広報紙 県民だよりひょうご	毎月発行の特性を生かし、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力、イベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信																			
テレビ 県民情報番組 「ひょうご発信！」	身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく、分かりやすく紹介する情報番組を提供																			
ラジオ 兵庫県情報コーナー 「GO! HYOGO！」	番組に知事のゲスト出演など、県政課題やタイムリーな話題、地域の魅力を発信																			
インターネット HP、SNS (Twitter、Facebook、Instagram)	速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信																			
趣 旨	若者の県政への関心を高め、シビックプライドの構築を目指すため、若者を巻き込み県の魅力を発信																			
事業内容	テーマに沿って兵庫の魅力を広報する企画を高校生など若者と一緒を考え、SNS等で発信するとともに、その取り組みをTV番組で紹介																			
	<p>2 全庁広報力の充実強化（303,414千円） 専門人材を活用した広報刊行物の品質向上や広報手法の相談体制、実践的な研修（広報の重要性、SNSの活用、広報媒体の編集方法など）を実施するなど、時代の変化に応じた情報発信力の強化を図る。</p>																			

令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳																					
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源																		
市町の行財政基盤確立への支援	<p>1 県と市町の連携推進 (317,727千円)</p> <p>県・市町懇話会や県・市長会・町村会政策懇話会、県・神戸市調整会議等を活用し、地域の課題について協議及び意見交換を行い、県及び市町がそれぞれの役割や機能を果たしながら連携を一層密にし、相互に効率的、効果的な施策展開を図る。</p> <p>【協議の場の設置状況(主なもの)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 20%;">対象</th> <th style="width: 50%;">主な議題 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県・市町懇話会</td> <td>全市町長</td> <td>新型コロナウイルス感染症への対応、新年度当初予算 等</td> </tr> <tr> <td>県・市長会・町村会政策懇話会</td> <td>市長会役員 町村会役員</td> <td>県政改革方針関連事業、ひょうご事業改善レビュー</td> </tr> <tr> <td>県・神戸市調整会議</td> <td>神戸市長 市会正副議長</td> <td>大阪・関西万博に向けた取組の推進、三宮・元町周辺の再整備に係る連携推進 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 市町の自律的運営への支援 (3,839,843千円)</p> <p>(1) 市町の行財政運営への支援</p> <p>持続可能な地域社会の実現に向けた行財政運営、地域活性化施策に関する財源確保、ふるさと納税の適正な運用と地域資源認定の活用、公務員制度の適正な運用及び公営企業の経営改革の推進などについて、情報提供、研修その他助言等を行い、自律的かつ持続的な行財政運営を支援する。</p> <p>また、ひょうご地域創生交付金の廃止を受け、新しい県と市町の間を踏まえた総括的な支援制度として「躍動する兵庫応援事業(県・市町連携枠)」を創設する。</p> <p>【躍動する兵庫応援事業の制度概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">配分スキーム</th> <th style="width: 45%;">県・市町連携枠 3億円程度</th> <th style="width: 45%;">多自然地域支援枠 (持続可能な多自然地域づくりプロジェクト) 2億円程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">県・市町連携枠</td> <td colspan="2"> ①補助対象事業 県重点施策と連動した市町単独事業 ②補助対象 政令・中核市を除く一般市町(普通交付税不交付団体を除く) ③補助率(申請団体の財政力指数に応じて設定) 0.4未満:2/3、0.4以上0.8未満:1/2、0.8以上:1/3 ④補助事業費申請上限額 1市町あたり20,000千円(事業数制限なし) </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県から市町への権限移譲の推進</p> <p>「県から市町への権限移譲検討会議」等を通じて、県と市町の役割分担や市町の意向を踏まえつつ、県と市町が連携して県独自の権限移譲の推進を図る。</p> <p>(3) 市町連携の促進</p> <p>人口減少と少子高齢化の加速により、様々な資源制約が顕在化する中、各市町が個々に有する既存施設やノウハウなどの資源を相互に融通し合いながら、行政サービスの維持・向上を図る必要性が高まっていることから、「市町連携のあり方研究会」の報告を踏まえ、多くの市町が参画し、広汎にわたる事務を共同処理する広域的、効果的な市町連携の実現に向けて、市町とともに検討を進めていく。</p>	名称	対象	主な議題 (R4)	県・市町懇話会	全市町長	新型コロナウイルス感染症への対応、新年度当初予算 等	県・市長会・町村会政策懇話会	市長会役員 町村会役員	県政改革方針関連事業、ひょうご事業改善レビュー	県・神戸市調整会議	神戸市長 市会正副議長	大阪・関西万博に向けた取組の推進、三宮・元町周辺の再整備に係る連携推進 等	配分スキーム	県・市町連携枠 3億円程度	多自然地域支援枠 (持続可能な多自然地域づくりプロジェクト) 2億円程度	県・市町連携枠	①補助対象事業 県重点施策と連動した市町単独事業 ②補助対象 政令・中核市を除く一般市町(普通交付税不交付団体を除く) ③補助率(申請団体の財政力指数に応じて設定) 0.4未満:2/3、0.4以上0.8未満:1/2、0.8以上:1/3 ④補助事業費申請上限額 1市町あたり20,000千円(事業数制限なし)		4,409,555	95	3,599,929	0	809,531
名称	対象	主な議題 (R4)																						
県・市町懇話会	全市町長	新型コロナウイルス感染症への対応、新年度当初予算 等																						
県・市長会・町村会政策懇話会	市長会役員 町村会役員	県政改革方針関連事業、ひょうご事業改善レビュー																						
県・神戸市調整会議	神戸市長 市会正副議長	大阪・関西万博に向けた取組の推進、三宮・元町周辺の再整備に係る連携推進 等																						
配分スキーム	県・市町連携枠 3億円程度	多自然地域支援枠 (持続可能な多自然地域づくりプロジェクト) 2億円程度																						
県・市町連携枠	①補助対象事業 県重点施策と連動した市町単独事業 ②補助対象 政令・中核市を除く一般市町(普通交付税不交付団体を除く) ③補助率(申請団体の財政力指数に応じて設定) 0.4未満:2/3、0.4以上0.8未満:1/2、0.8以上:1/3 ④補助事業費申請上限額 1市町あたり20,000千円(事業数制限なし)																							

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳									
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源						
市町の行財政基盤確立への支援	<p>3 社会保障・税番号制度の推進（251,985千円）</p> <p>各市町のマイナンバーカード交付体制の強化に向けて必要な助言を行うほか、県民に対してはカードの取得メリット等（各種証明書のコンビニでの交付、健康保険証や新型コロナワクチン接種証明書としての利用、行政手続のオンライン申請等）の広報を実施し、住民の取得を促進する。</p> <p>また、今後のマイナンバーカードの日常的な利活用シーンの拡大を見据え、県・市町が連携したカードの申請受付体制を構築し、一層のカードの取得促進を図る。</p> <p>【マイナンバーカード取得率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県民取得率 (R4.11月末)</th> <th>県職員取得率 (R4.9月末)</th> <th>市町職員取得率 (R4.9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.48% (全国4位)</td> <td>73.48% 〔 知事部局等88.83%、病院局58.24% 教育委員会62.19%、警察 84.86% 〕</td> <td>78.34% ※ 教育委員会・消防除く</td> </tr> </tbody> </table>	県民取得率 (R4.11月末)	県職員取得率 (R4.9月末)	市町職員取得率 (R4.9月末)	70.48% (全国4位)	73.48% 〔 知事部局等88.83%、病院局58.24% 教育委員会62.19%、警察 84.86% 〕	78.34% ※ 教育委員会・消防除く	4,409,555	95	3,599,929	0	809,531
県民取得率 (R4.11月末)	県職員取得率 (R4.9月末)	市町職員取得率 (R4.9月末)										
70.48% (全国4位)	73.48% 〔 知事部局等88.83%、病院局58.24% 教育委員会62.19%、警察 84.86% 〕	78.34% ※ 教育委員会・消防除く										

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳									
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源						
適正な人事管理と働きやすい職場づくり	<p>1 人材育成等の推進 (99,691千円)</p> <p>新たな人材育成に関する基本方針を策定し、職員研修の充実や職員のキャリアビジョンを踏まえた人事配置、職員の挑戦を促す人事評価制度の構築等、人事管理全般を通じた総合的な人材育成を進める。</p> <div data-bbox="368 577 1461 913" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">新たな人材育成に関する基本方針の位置付け・役割</p> <p>採用、育成、評価、配置、処遇といった人事施策全般を一貫した考え方の下に整備するための基本方針</p> </div> <p>2 新しい働き方の推進 (一)</p> <p>県民本位で質の高い行政サービスの提供に向け、「新しい働き方推進プラン」(R4.12月策定)に基づき、テレワークの更なる活用やペーパーレス化をはじめとした柔軟で多様な働き方の推進、休暇・休業制度の活用促進、超過勤務の縮減、職員の意識改革等に取り組む。</p> <div data-bbox="368 1108 1461 1534" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">新しい働き方推進プランの概要</p> <p>①プランが目指す姿 新しい働き方の推進により、組織パフォーマンスを最大化し、県民本位で質の高い行政サービスを実現</p> <p>②施策の5本柱</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 柔軟で多様な働き方の推進</td> <td>4. ICTを活用した業務改革の推進</td> </tr> <tr> <td>2. 休暇・休業制度の活用促進</td> <td>5. 職員の意識改革・職場風土の醸成</td> </tr> <tr> <td>3. 超過勤務の縮減</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>3 職員の健康管理の推進 (345,615千円)</p> <p>(1) 健康を保持する取組の推進</p> <p>職員一人ひとりが心身両面にわたり健康で職務を遂行できるよう、生活習慣病対策に重点をおいた健康診断・がん検診を実施し、診断結果を踏まえた保健指導を行う。 こころの健康対策としては、ストレスチェックを実施するとともに、心身の不調を感じた場合に身近に相談できる「健康なやみ相談室」の運営、メンタルヘルス研修を実施する。 あわせて、療養職員が早期に職場復帰できるよう、職場や自治研修所等でならし出勤を実施する等、医師や保健師との連携により職員本人や所属に対する支援強化に取り組む。</p> <p>(2) 福利厚生の実施</p> <p>職員が意欲を持って公務に従事できるよう、福利厚生事業を実施する。</p>	1. 柔軟で多様な働き方の推進	4. ICTを活用した業務改革の推進	2. 休暇・休業制度の活用促進	5. 職員の意識改革・職場風土の醸成	3. 超過勤務の縮減		445,306	0	182,709	0	262,597
1. 柔軟で多様な働き方の推進	4. ICTを活用した業務改革の推進											
2. 休暇・休業制度の活用促進	5. 職員の意識改革・職場風土の醸成											
3. 超過勤務の縮減												

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳																		
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源															
県有財産の適正管理と有効活用	<p>1 公共施設等の適正管理の推進 (4,509,205千円) 「兵庫県公共施設等総合管理計画」に基づき、長期的視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら、施設の機能や安全性を確保するため、老朽化対策等を推進する。</p> <p>【統一的な方針に基づく施設管理の推進】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設総量の適正化</td> <td>老朽化状況や県民ニーズ変化、将来にわたる地域活性化等の観点を踏まえ、総量の適正化のための施設集約等を推進</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">老朽化対策</td> <td>計画修繕</td> <td>概ね築20年を迎える施設等について、老朽化が軽微である初期段階での機能・性能の保持・回復を図る予防保全を実施</td> </tr> <tr> <td>長寿命化</td> <td>概ね築45年又は耐震改修後20年を超え老朽化が進行する施設について、建物全体の機能・性能の向上を図る大規模改修を実施</td> </tr> <tr> <td>環境整備</td> <td>経年による施設機能の老朽化等を踏まえた環境整備を実施(トイレの洋式化等)</td> </tr> <tr> <td>安全性の向上</td> <td>耐震性能が不足する施設の耐震化を実施</td> </tr> <tr> <td>施設の有効活用</td> <td>空きスペースが生じた施設等の有効活用を推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県有財産の有効活用 (50,595千円) 県保有の未利用財産の有効活用を進めるため、部局間の連携のもと、庁内での利活用、国や市町での有効活用、一般競争入札による売却などに積極的に取り組む。</p>	区分	主な取組内容	施設総量の適正化	老朽化状況や県民ニーズ変化、将来にわたる地域活性化等の観点を踏まえ、総量の適正化のための施設集約等を推進	老朽化対策	計画修繕	概ね築20年を迎える施設等について、老朽化が軽微である初期段階での機能・性能の保持・回復を図る予防保全を実施	長寿命化	概ね築45年又は耐震改修後20年を超え老朽化が進行する施設について、建物全体の機能・性能の向上を図る大規模改修を実施	環境整備	経年による施設機能の老朽化等を踏まえた環境整備を実施(トイレの洋式化等)	安全性の向上	耐震性能が不足する施設の耐震化を実施	施設の有効活用	空きスペースが生じた施設等の有効活用を推進	4,559,800	0	212,571	2,856,400	1,490,829
区分	主な取組内容																				
施設総量の適正化	老朽化状況や県民ニーズ変化、将来にわたる地域活性化等の観点を踏まえ、総量の適正化のための施設集約等を推進																				
老朽化対策	計画修繕	概ね築20年を迎える施設等について、老朽化が軽微である初期段階での機能・性能の保持・回復を図る予防保全を実施																			
	長寿命化	概ね築45年又は耐震改修後20年を超え老朽化が進行する施設について、建物全体の機能・性能の向上を図る大規模改修を実施																			
	環境整備	経年による施設機能の老朽化等を踏まえた環境整備を実施(トイレの洋式化等)																			
安全性の向上	耐震性能が不足する施設の耐震化を実施																				
施設の有効活用	空きスペースが生じた施設等の有効活用を推進																				
公文書の管理・県政情報の公開等の推進	<p>1 適正かつ効率的な公文書の管理の推進 (187,781千円) 公文書等の管理に関する条例に基づき、公文書を適正に管理するとともに、文書管理システムの活用等による公文書の電子的管理を推進する。</p> <p>【文書管理システムの電子決裁率】 ※ R4.11月末実績：34.5%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2実績</th> <th>R3実績</th> <th>R4目標</th> <th>R5目標</th> <th>R6目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決裁率</td> <td>12.7%</td> <td>32.6%</td> <td>40%</td> <td>80%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県政情報の公開等の推進 (43,017千円) 公正で透明な県政を実現するための情報公開制度を運用するとともに、個人情報の保護に関する法律及び同法施行条例(R5.4月施行)に則って、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益の保護を図る。</p> <p>【個人情報保護に係る制度改正の概要】</p>	年度	R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R6目標	決裁率	12.7%	32.6%	40%	80%	100%	230,798	0	156,078	0	74,720			
年度	R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R6目標																
決裁率	12.7%	32.6%	40%	80%	100%																

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳			
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
元町地域の 魅力向上の 推進	<p>1 元町周辺再整備グランドデザイン等の検討（44,379千円）</p> <p>将来の元町全体のグランドデザインを神戸市と連携して策定していく中で、働き方改革を踏まえた県庁舎のあり方を検討する。</p> <p>また、現庁舎の安全対策については、令和4年度に実施の詳細な耐震診断（時刻歴応答解析）の結果を踏まえ検討する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①グランドデザインの検討 神戸市との調整や民間ヒアリングを実施</p> <p>②県庁舎のあり方検討 働き方改革の先進企業やオフィスデザイン等の学識者等で構成する執務環境に関する会議を設置するとともに、新しい働き方について課題の抽出や解決策の検討を実施</p> <p>③現庁舎の安全対策の検討 詳細な耐震診断（時刻歴応答解析）の結果を踏まえた安全対策を検討</p>	44,379	0	0	0	44,379

令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の 要 求 額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特 定 財 源	起 債	一 般 財 源
私立学校教育の振興		33,598,728	11,561,135	150,167	95,400	21,792,026

1 私立学校の運営支援（22,528,207千円）

独自の教育理念と特色ある教育により公教育の一翼を担う私立学校の振興を図るため、私立の幼・小・中・高校に対する経常費補助や耐震化の促進、特色ある教育活動等への支援を行うとともに、専修学校・各種学校の運営費等への補助を行う。

【経常費補助の概要】

(単位：千円)

事業名	事業の概要	R5予算案
①私立学校経常費補助【一部国庫】	私立高等学校、中学校、小学校および幼稚園の教職員人件費など経常的経費に対する補助	20,132,474
②私立専修学校・各種学校補助	私立専修学校・各種学校の学校運営の基盤強化、職業・専門教育の充実強化等に対する補助	651,371

2 私立学校生徒の就学支援の推進（9,591,780千円）

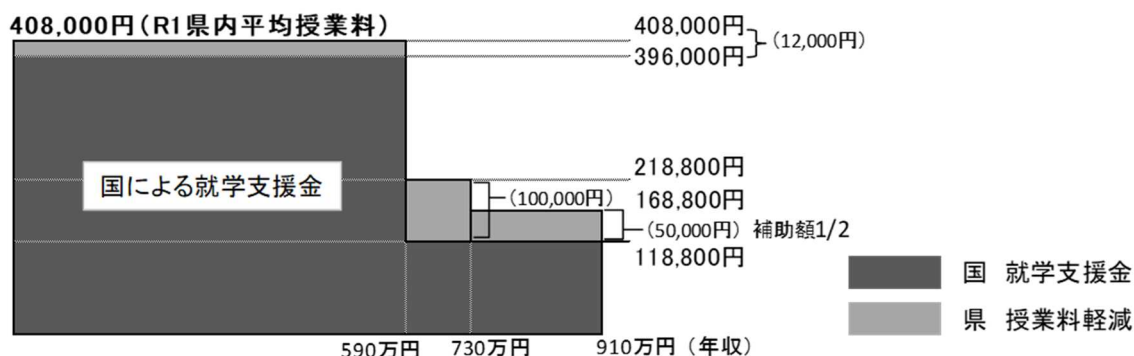
国の就学支援金に加えて、県単独の授業料軽減補助を実施し、所得区分に応じた授業料の軽減を行うとともに、奨学給付金制度や入学資金貸付制度により、授業料以外の教育費負担についても支援を行う。

また、国の高等教育の修学支援新制度により、専門学校において授業料等の減免を行う。

【現行制度の概要（主なもの）】


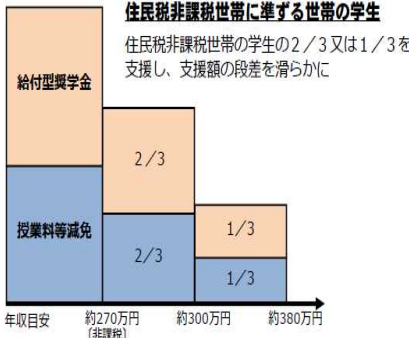
事業名	授業料軽減補助（一般分）	授業料軽減補助（臨時特別分）
概要	国の就学支援金に県単独の補助を上乗せし、授業料負担を軽減 ・年収590万円未満世帯：1.2万円補助 ・年収730万円未満世帯：10万円補助 ・年収910万円未満世帯：5万円補助 ※ 専修学校・各種学校：上記の1/2補助 ※ 隣接府県：京都府1/2、その他1/4補助	失業、倒産等の家計急変世帯に対し、県単独補助分を増額支給
対象	高等学校、専修学校・各種学校	小・中・高等学校、専修学校・各種学校

【授業料軽減補助のイメージ（現行制度）】



3 少子対策への支援（1,478,741千円）

私立幼稚園における預かり保育や在宅乳幼児とその保護者に対する体験幼児教育等への取組を支援するとともに、子ども・子育て支援新制度における幼保連携型、幼稚園型認定こども園においても、幼児教育水準を維持向上できるよう特色教育等への支援を行う。

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳														
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源											
兵庫県公立大学法人への運営支援	<p>1 県立大学運営への支援（ 8,421,875千円） 少子化による大学間競争の激化に加え、地域創生の推進など新たな課題に対応するため、令和3年4月から導入した1法人複数大学制による教育、研究、社会貢献の高度化等を図ることで、個性、特色豊かな魅力ある大学づくりを支援する。 また、姫路工学キャンパスの建替整備などを計画的に進め、教育、研究の充実を図る。</p> <p>【具体的な取組】 ①教育、研究の充実強化 グローバル化や高度情報化社会の進展等に的確に対応した教育研究を進めるとともに、先端医療工学研究所（R4.4月開設）において医産学看が連携した共同研究等を実施 ②社会貢献の推進 県が進める「兵庫水素社会推進構想」の実現に貢献するため、産業界等と連携してグリーントランスフォーメーション(GX)に資する研究を促進し、地域企業へ成果を還元</p> <p>【姫路工学キャンパスの整備】 最先端工学研究、産学連携及び地域支援の拠点機能の向上を図るため、狭隘化、老朽化が顕著な姫路工学キャンパスを計画的に建替 <R5事業>排水処理施設等改修工事 等</p>  <p>姫路工学キャンパス新2号館</p>	9,328,241	40,339	147,625	260,200	8,880,077											
	<p>2 専門職大学運営への支援（ 906,366千円） 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成し、あわせて地域に根ざした教育研究活動を推進することにより、地域及び国際社会に貢献する大学づくりを支援する。</p> <p>【具体的な取組】 ①実習等の教育の取組 授業の1/3（約800時間）を臨地実習に充て、地域や社会を舞台に現場の実践力を育成するとともに、国内外の第一線で活躍するアーティストとともに創作活動を実施 ②地域連携の取組 多様な主体と協働する学術交流拠点「地域リサーチ&イノベーションセンター」において、大学教員の研究成果等を地域社会で活用し、地域課題解決に向けた取組を展開</p>																
	<p>3 高等教育無償化への取組（一） 国の高等教育の修学支援新制度により住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯に対して授業料等を減免するとともに、大学独自の授業料・入学金の減免を継続的に実施する。</p> <p>【国の修学支援新制度（国公立大学）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">授業料等減免の上限額（年額）</th> <th colspan="2">給付型奨学金の給付額（年額）</th> </tr> <tr> <th>入学金</th> <th>授業料</th> <th>自宅生</th> <th>自宅外生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約28万円</td> <td>約54万円</td> <td>約35万円</td> <td>約80万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額はR4.4月現在</p>	授業料等減免の上限額（年額）		給付型奨学金の給付額（年額）		入学金	授業料	自宅生	自宅外生	約28万円	約54万円	約35万円	約80万円				
授業料等減免の上限額（年額）		給付型奨学金の給付額（年額）															
入学金	授業料	自宅生	自宅外生														
約28万円	約54万円	約35万円	約80万円														
						<p>【支援内容のイメージ図】</p> <p>住民税非課税世帯に準じる世帯の学生 住民税非課税世帯の学生の2/3又は1/3を支援し、支援額の段差を滑らかに</p>  <p>年取目安 約270万円（非課税） 約300万円 約380万円</p> <p>（両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安。基準を満たす世帯年収は家族構成により異なる）</p>											

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳			
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
県内大学との連携強化	<p>1 県内大学との連携・大学間交流の促進（51,354千円）</p> <p>(1) 県内大学間連携・海外大学との交流推進 県内大学との連携を強化するとともに、兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク「HUMAP」を基盤とした海外大学との学生、研究者交流を推進する。 ※ HUMAP参加大学：16カ国、173大学（兵庫地域26大学、アジア・太平洋地域等147大学）</p> <p>【事業内容】</p> <p>①単位相互認定による交換学生交流 ②研究者の受け入れによる交流</p> <p>(2) 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進 大学生の県内就職を一層促進するため、大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、大学キャリアセンターと県内企業経営者等との意見交換会を開催するなど、大学キャリアセンターの情報発信力やマッチング機能強化を支援する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①中小企業経営者や採用担当者と大学キャリアセンターの意見交換 ②中小企業経営者等による取組紹介と意見交換による学生に対する情報発信 ③大学間連携就職コーディネーターの設置</p> <p>(3) リカレント教育の推進 県内大学や企業等と連携したリカレント教育の充実に向けた取組を推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①県内大学のリカレント教育に対する気運醸成 ・文部科学省担当者による講演 ・リカレント先進大学、リカレント活用企業の事例紹介 ・リカレント教育に関する県内大学、企業との意見交換会 ②リカレントフェアの実施による企業、受講希望者に対する情報発信</p>	51,354	2,623	0	0	48,731

令和5年度予算要求一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	237,462	1,255,562	100,000	14,029	250,000	891,533	
秘書課 (儀典室)	88,261	81,044	0	0	0	81,044	
広報広聴課	628,181	543,222	735	25,819	0	516,668	
市町振興課	3,482,215	4,977,966	2,630	2,588,960	0	2,386,376	
教育課	44,124,222	42,991,855	11,604,097	298,792	355,600	30,733,366	
法務文書課 (県民情報センター)	227,372	230,798	0	156,078		74,720	
人事課	240,606	220,434	0	16,957	0	203,477	
職員課	636,218	567,321	0	165,752	0	401,569	
管財課	4,784,428	4,804,576	0	237,303	2,856,400	1,710,873	
元町再開発課	5,341	44,379	0	0	0	44,379	
合計	54,454,306	55,717,157	11,707,462	3,503,690	3,462,000	37,044,005	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（総務課） 東京事務所 運 営 費	25,782	27,281	0	10,158	0	17,123	東京事務所の運営に要する経費 1 東京事務所維持運営費等 25,781 2 (新) 首都圏兵庫発信プラットフォーム 事業費 1,500
（広報広聴課） 県広報活動費	494,950	455,990	0	24,938	0	431,052	各種県政広報に要する経費 1 新たな広報体制構築事業費 20,336 2 インターネット情報発信事業費 23,792 3 県政情報番組放送事業費 72,897 4 県政特別番組放送事業費 1,359 5 ラジオ放送事業費 3,144 6 「県民だよりひょうご」発行事業費 267,295 7 ユニバーサル広報費 7,412 8 広報事務運営費等 59,755
広 聴 活 動 費	115,231	87,232	735	881	0	85,616	各種広聴活動に要する経費 1 県民相談運営費 54,234 2 県民総合相談センター運営費 20,720 3 広聴事務運営費等 12,278
（市町振興課） 市 町 行 財 政 調 整 推 進 費	262,571	582,653	0	41,713	0	540,940	市町の行政・財政及び税政の調査、助言等に 要する経費 1 市町振興団体等補助事業費 5,376 2 住民基本台帳ネットワークシステム推進 事業費 153,058 3 公的個人認証サービス推進事業費 81,404 4 (新) 躍動する兵庫応援事業（県・市町 連携枠） 300,000 5 市町行財政推進費等 42,815
兵庫県移譲事務 市 町 交 付 金	266,378	268,685	95	0	0	268,590	知事の権限に属する事務に係る事務処理の特 例に関する条例により市町に移譲した事務に 係る交付金
選 挙 啓 発 費	3,200	3,123	0	0	0	3,123	選挙に関する正しい知識を啓発する事業に要 する経費 1 選挙出前授業実施事業費 326 2 県事務費等 2,797

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
兵庫県議会議員 選 挙 事 務 費	381,940	1,558,395	0	0	0	1,558,395	兵庫県議会議員選挙の執行に要する経費
市 町 村 振 興 宝 く じ 等 益 金 交 付 金	1,926,508 (0)	1,926,508	0	1,926,508	0	0	市町村振興宝くじ等益金交付金
（法務文書課） 文 書 事 務 費	190,337	187,781	0	155,340	0	32,441	文書收受発送、文書管理事務、県公報の発行等に要する経費
情報公開推進費	5,656	5,486	0	737	0	4,749	情報公開制度及び個人情報保護制度の運営に要する経費
法 務 事 務 費	30,113	36,054	0	1	0	36,053	訴訟事務等に要する経費 1 訴訟事務費、法務事務費 30,247 2 兵庫県法規データベースシステム事業費 4,693 3 行政不服審査会運営費 1,114
法人指導事務費	1,266	1,477	0	0	0	1,477	公益法人の監督等及び宗教法人の認証に要する経費 1 公益法人指導等事務費等 1,376 2 宗教法人指導等事務費等 101
（人事課） 人 事 管 理 ・ 職 員 研 修 費	73,705	107,943	0	16,957	0	90,986	公正で能率的な公務の執行及び県・市町職員に対する体系的な研修の実施に要する経費 1 自治研修所維持運営費 24,676 2 各種派遣研修費等 19,392 3 職員研修費等 38,522 4 (新) 民間人材の活用事業費 25,353
（職員課） 職 員 衛 生 管 理 及 び 健 康 増 進 費	227,986	224,230	0	117,925	0	106,305	職員の衛生及び健康管理に要する経費 1 職員健康管理推進事業費 221,587 2 こころの健康づくり推進対策事業費 2,643

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
職員福利厚生費	105,960	114,944	0	47,827	0	67,117	職員の福利厚生事業に要する経費 1 職員福利厚生施設維持管理費 102,989 2 職員相談事務費等 11,955
（管財課） 本庁舎及び地方 機関庁舎整備費	989,376	998,573	0	161,976	76,200	760,397	本庁舎及び地方機関総合庁舎等の整備に要する経費 1 本庁舎等維持修繕費 501,881 2 地方機関総合庁舎等維持管理費 456,177 3 庁舎等整備事業費 40,515
財産管理事務費	63,893	63,893	0	63,893	0	0	公有財産の管理、取得及び処分等に要する経費
公共施設等 適正管理事業費	3,500,000	3,500,000	0	0	2,780,200	719,800	公共施設等の適正管理に要する経費
（元町再開発課） 元町周辺 再整備事業費	5,341	44,379	0	0	0	44,379	元町周辺再整備グランドデザイン等の検討に要する経費

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（教育課） 私学教育 充実支援費	33,601,887	33,606,721	11,561,135	151,167	95,400	21,799,019	私学教育の充実支援に要する経費 1 私立学校の振興助成に要する経費 22,624,357 (1)私立学校経常費補助 20,132,474 (2)私立学校経常費特別補助等 946,208 (3)私立幼稚園等特別支援教育推進事業費等 477,392 (4)私立幼稚園等乳幼児子育て応援事業費 263,326 (5)私立学校施設耐震化補助事業費等 130,446 (6)専修学校等補助 674,511 2 私立高等学校等就学補助 9,591,780 (1)私立高等学校等就学支援事業費 6,740,178 (2)私立高等学校等生徒授業料軽減補助等 909,093 (3)私立高等学校等奨学給付金 663,698 (4)入学資金貸付事業費等 63,876 (5)高等教育無償化による私立専修学校 授業料等軽減補助 1,208,755 (6)新 私立学校特別支援教育就学奨励費 6,180 3 私立学校教職員福利厚生団体等補助 1,390,584
兵 庫 県 公立大学法人 運営費交付金	9,175,566	8,980,946	40,339	147,625	0	8,792,982	兵庫県公立大学法人に対する標準運営費及び 特定運営費の交付金等 1 兵庫県立大学 7,535,982 2 附属学校 538,578 3 芸術文化観光専門職大学 906,366
大 学 整 備 費	1,292,708	347,042	0	0	260,200	86,842	兵庫県立大学姫路工学キャンパスの施設の 整備等に要する経費
教育企画推進費	54,061	57,146	2,623	0	0	54,523	高等教育の振興に要する経費 1 HUMAP構想推進費 45,250 2 兵庫県公立大学法人評価委員会費 253 3 学生未来会議開催費 1,200 4 大学キャリアセンターと連携した県内大 学生地元就職促進事業費 5,246 5 リカレント教育推進プロジェクト費 500 6 大学連携事業企画調整費等 4,697

令和5年度予算要求一覧表

(特別会計)

(単位：千円)

会 計	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
勤労者総合福祉 施設整備事業 特別会計	296,091	0	0	0	0	0	
庁用自動車管理 特別会計	186,989	165,598	0	165,598	0	0	
自治振興助成 事業特別会計	1,345,830	1,631,709	0	1,631,708	0	繰越金 1	
基金管理 特別会計	13,130	0	0	0	0	0	
県有環境林等 特別会計	10,273	10,275	0	10,275	0	0	
計	1,852,313	1,807,582	0	1,807,581	0	繰越金 1	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（自治振興助成事業特別会計）

（単位：千円）（総務部）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（市町振興課） 自治振興助成 事業費	1,096,364	1,526,364	0	1,526,363	0	1 （繰越金）	地域住民の福祉の向上のために市町が行う自治振興事業の助成に要する経費 1 補助金 20,000 2 貸付金 1,500,000 3 事務費 6,364
生活排水処理 対策事業費	249,466	105,345	0	105,345	0	0	持続可能な生活排水処理事業の推進のために市町が行う助成に要する経費 1 補助金 105,345

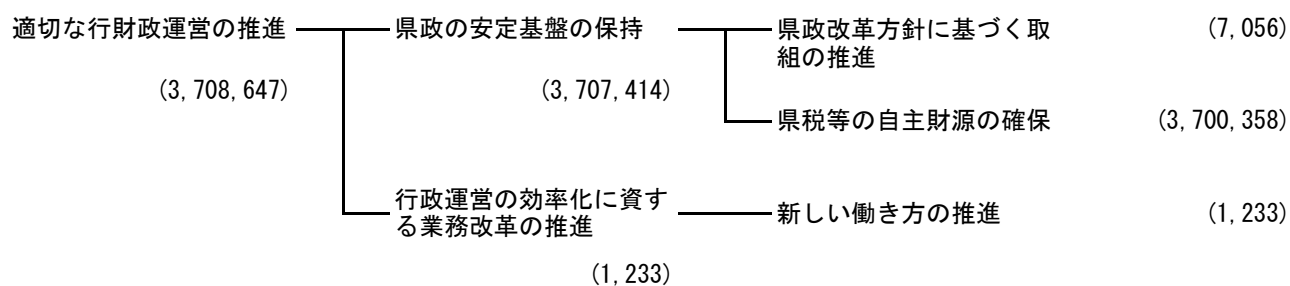
令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

財 務 部

令和5年度重要施策体系表

(単位：千円)



令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
県政の安定 基盤の保持	<p>3, 707, 414</p> <p>0</p> <p>73, 417</p> <p>150, 000</p> <p>3, 483, 997</p> <p>1 県政改革方針に基づく取組の推進（7,056千円） 県政改革方針に基づき、各分野での取組を推進し、収支均衡と将来負担の軽減を図りつつ、時代の変化に的確に対応出来る、持続可能な行財政基盤の確立を目指す。 取組の実施にあたっては、実施計画等を議会へ報告・公表するなど、適切なフォローアップを図るとともに、ひょうご事業改善レビューを実施し、外部有識者の専門的見地に基づく意見等を踏まえ、有効性・効率性等の観点から事業の改善を図る。</p> <p>2 県税等の自主財源の確保（3,700,358千円） (1) 令和5年度の財政見通し 令和5年度地方財政対策においては、地方税と地方交付税を合わせた一般財源総額（水準超除き）は62.2兆円と、令和4年度を1,500億円上回ったものの、今後の社会保障関係費の増加や震災関連県債の償還、新型コロナウイルス感染症の感染動向、ウクライナ情勢、円安や原油価格・物価高騰の影響等を考慮すると、今後の税収の見通しは不透明であり、本県財政にとっては引き続き厳しい状況と見込まれる。 (2) 税収確保対策の推進 新型コロナウイルス感染症の影響を十分考慮しつつ、県税の徴収歩合が全国平均を上回ることを基本とし、収入未済額の更なる縮減に向け、税収確保対策を推進する。 県税収入未済額の約8割を占める個人県民税については、個人住民税特別対策官を中心に、市町が自立した徴収対策が行えるよう、情報交換機会の充実や市町間併任の促進等の県と市町の連携した取組を推進する。 また、告発等を視野に入れた不正軽油対策、捜索やタイヤロック装着等による差押強化など悪質滞納者への徴収対策などに重点的に取り組む。 (3) 円滑かつ安定的な資金調達 SDGs債など市場環境や投資家ニーズを踏まえた県債発行や、県債引受基盤の強化に取り組むことにより、円滑かつ安定的な資金調達を進める。 (4) ふるさとひょうご寄附金など収入確保の取組 ふるさとひょうご寄附金（ふるさと納税）の積極展開、ネーミングライツ・広告料収入、宝くじの販売促進等に取り組むとともに、債権管理推進本部のもと収入未済額の計画的な縮減を進め、収入の確保を図る。 (5) 国への積極的な働きかけ コロナ禍における原油価格・物価高騰等の厳しい財政環境の中で、国・地方の税配分の見直しや地方交付税総額の充実・確保など持続可能な行財政運営が図れるよう、地方税財源の充実強化について国へ積極的に働きかける。 新型コロナウイルス感染症対策等に係る財源措置については、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」及び「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の継続的な措置について要望する。</p>					
行政運営の 効率化に資 する業務改 革の推進	<p>1, 233</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>1, 233</p> <p>1 新しい働き方の推進（1,233千円） 県民本位で質の高い行政サービスの提供に向け、「新しい働き方推進プラン」(R4.12)に基づき、ペーパーレス化や行政手続の簡素化などICTを活用した業務改革、職員の意識改革等に取り組む。</p>					

令和 5 年度 予算要求 一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課 名	令和 4 年度 当初予算額	令和 5 年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
総 務 課	28,777	39,540	0	0	0	39,540	
財 政 課	278,942,638	271,266,537	373	21,067,318	0	250,198,846	
税 務 課	182,881,363	192,816,730	0	7,300	150,000	192,659,430	
県 政 改 革 課	6,737	8,289	0	0	0	8,289	
合 計	461,859,515	464,131,096	373	21,074,618	150,000	442,906,105	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（財務部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（財政課） 外部監査実施費	12,090	12,050	0	0	0	12,050	外部監査実施に要する経費
（税務課） 県税市町交付金	165,638,106	175,583,204	0	0	0	175,583,204	地方税法に基づく県税の市町に対する交付金 1 利子割交付金 411,463 2 配当割交付金 9,690,423 3 株式等譲渡所得割交付金 6,155,422 4 地方消費税交付金 136,047,185 5 ゴルフ場利用税交付金 2,585,385 6 自動車税環境性能割交付金 2,298,498 7 軽油引取税交付金 6,341,428 8 県民税所得割交付金 333,150 9 法人事業税交付金 11,720,250
県税賦課徴収費	12,135,571	12,465,734	0	7,300	150,000	12,308,434	県税の賦課徴収等に要する経費 1 直税関係賦課調査事務費 121,298 2 自動車税関係賦課調査事務費 354,311 3 間税関係賦課調査事務費 1,865,663 4 E D P S 関係事務費 996,713 5 県税徴収一般事務費等 290,056 6 県民税徴収事務費市町交付金 8,837,693
（県政改革課） 行 財 政 運 営 推 進 費	6,737	8,289	0	0	0	8,289	行財政運営の推進に要する経費 1 行財政運営推進費 4,084 2 投資事業評価委員会設置運営費 749 3 公益通報委員会設置運営費等 600 4 業務改革推進費 1,233 5 ひょうご事業改善レビュー外部委員会 推進費 1,623

令和5年度予算要求一覧表

(特別会計)

(単位：千円)

会 計	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
公共事業用地 先行取得事業 特別会計	3,000,000	3,000,000	0	0	3,000,000	0	
公 債 費 特別会計	547,793,165	509,237,285	0	391,371,284	117,866,000	繰越金 1	
地方消費税清算 特別会計	493,720,000	535,606,830	0	535,606,830	0	0	
基金管理 特別会計	1,774,265	0	0	0	0	0	
県有環境林等 特別会計	100,000	0	0	0	0	0	
計	1,046,387,430	1,047,844,115	0	926,978,114	120,866,000	繰越金 1	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（地方消費税清算特別会計）

（単位：千円）（財務部）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（ 税 務 課 ） 地 方 消 費 税 清 算 金	239,069,000	282,344,000	0	282,344,000	0	0	地方税法第72条の114に基づく地方消費税の 都道府県間の清算に要する経費

令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

危機管理部

令和5年度重要施策体系表

(単位：千円)

防災・危機管理対策の 総合的推進 (7,549,254)	防災・危機管理対策の充 実・強化 (6,149,829)	新型コロナウイルス感染 症への対応	(5,689,000)
		防災・危機管理体制の構 築	(458,141)
		地震・津波等対策の推進	(2,688)
	消防体制の充実・強化と 産業保安の確保 (600,840)	消防力の充実・強化	(543,948)
		危険物施設・高圧ガス施 設等の安全確保	(56,892)
	地域防災力の向上 (78,417)	住民の避難行動の支援	(16,061)
		自主防災組織の活性化	(52,472)
		企業防災力の強化促進	(9,884)
	被災者・被災地支援の推 進 (112,967)	兵庫県住宅再建共済制度 の推進	(110,436)
		東日本大震災等への支援	(2,531)
	阪神・淡路大震災の経 験・教訓の継承・発信 (596,731)	「震災を風化させない」 取組の推進	(8,119)
		人と防災未来センターの 運営	(569,592)
		国際防災・人道支援活動 の推進	(19,020)
大阪・関西万博開催に向 けた取組推進 (10,470)	防災ツーリズムの推進	(10,470)	
広域防災の推進	関西広域連合の取組	(—)	
			(—)

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財源内訳			
		要求額	国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
防災・危機管理対策の充実・強化	<p>1 新型コロナウイルス感染症への対応 (5,689,000千円) 対策本部を設置し、保健医療体制の強化のほか、3密の回避・効果的な換気・適切なマスク着用等の基本的な感染対策の徹底、積極的なワクチン接種等についての呼びかけを行うなど、国の基本的対処方針を踏まえつつ、感染状況に応じた適切な対策を行う。</p> <p>2 防災・危機管理体制の構築 (458,141千円) (1) 全庁的な防災・危機管理体制の構築 自然災害や大規模事故、感染症等の危機事案の発生に対しては、対策本部や警戒本部、連絡会議等を設置して対処する。また、各部局、県民局・県民センターに危機管理員を設置し、平常時からの全庁的な防災・危機管理体制を充実するとともに、災害時に備えた24時間監視・即応体制を確立する。</p> <p>(2) 実践的な防災訓練の実施 防災関係機関の連携強化、県民の防災意識の高揚を図るため、県と丹波地域の2市による兵庫県・丹波地域合同防災訓練を丹波地域で令和5年9月に実施するほか、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震を想定した津波一斉避難訓練（令和5年11月）を実施する。</p> <p>(3) 防災情報の発信・共有化 災害情報等の収集・伝達・共有を図るため、兵庫県防災行政無線（衛星系・地上系）及びフェニックス防災システムを運用する。フェニックス防災システムでは、災害現場等の遠隔情報共有システムやSNS情報収集システムの活用により、情報収集力の強化を図る。また、携帯電話等を利用し、県民に直接、災害情報、避難情報等を発信する「ひょうご防災ネット」について、スマートフォン向けアプリのシステム増強や一層の普及を行い、防災情報の発信を強化する。</p> <p>3 地震・津波等対策の推進 (2,688千円) (1) 地域防災計画の見直し 防災基本計画の修正や本県の防災対策への取組状況等、最新の知見を反映し、所要の見直しを行う。</p> <p>(2) 地震・津波対策アクションプログラムの推進 「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」及び「日本海沿岸地域地震・津波対策アクションプログラム」に基づき、ハード・ソフト対策を総合的に推進する。</p> <p>(3) 防災啓発動画の作成 近年頻発する豪雨災害などの自然災害への対策や、南海トラフ地震・津波対策アクションプログラムなどの新たな要素を盛り込み、学生や若者の意見を反映させた啓発動画を作成する。</p>	6,149,829	5,732,800	50,068	0	366,961

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳			
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
消防体制の充実・強化と産業保安の確保	<p>1 消防力の充実・強化 (543,948千円)</p> <p>(1) 消防力の充実・強化 市町等が行う消防設備の整備、消防の広域化、救急業務の高度化等に対する指導・助言に努めるとともに、消防団が自主防災組織と連携して行う実践的な訓練や消防団員の加入促進等への支援、女性消防団員活性化に係る取組への支援等により、消防力の充実強化を図る。</p> <p>(2) 消防防災ヘリコプターの運航 救急・救助活動、火災防御活動、情報収集活動等を行うため、消防防災ヘリコプターを運航する。</p> <p>(3) 救急業務の高度化 消防本部・医療機関等で構成するメディカルコントロール協議会を運営し、救急業務の実施基準の策定・見直し、救急活動の事後検証等の円滑な救急搬送に向けた検討等を行い、救急業務の高度化を図る。</p> <p>2 危険物施設・高圧ガス施設等の安全確保 (56,892千円) 石油コンビナート等における危険物施設等の事故を防止するため、関係機関・事業所が参画した訓練や危険物取扱者に対する講習会を行うとともに、消防本部と連携し、事業所への立入検査や指導の徹底を図る。 また、高圧ガス・火薬類の安全確保と電気工事の適正実施のため、関係法令に基づく許可や検査を行うとともに、事業者の自主保安体制の確立を指導する。</p>	600,840	32,923	164,340	0	403,577
地域防災力の向上	<p>1 住民の避難行動の支援 (16,061千円)</p> <p>(1) 避難行動要支援者の個別避難計画作成の促進 地域の災害危険度や要支援者本人の状況を踏まえ、優先度の高い要支援者について福祉事業者や自主防災組織等と連携し、実効性のある個別避難計画を作成する市町に対して支援を行うとともに、地域で個別避難計画作成に参画する人材を育成するなど、避難行動要支援者対策の推進を図る。</p> <p>(2) マイ避難カードの普及促進 コロナ禍でも避難を躊躇することがないように、自らの逃げ時や複数の避難先等をあらかじめ決めておく「マイ避難カード」の作成について、ワークショップの開催や地域への防災専門家の派遣等を通じて全県に展開し、住民の避難行動を支援する。</p> <p>2 自主防災組織の活性化 (52,472千円) 地域における防災の担い手を育成するため、広域防災センターに新たに整備した研修宿泊施設を活用し、防災の知識・技術を体系的に学ぶひょうご防災リーダー講座を実施する。また、ひょうご防災特別推進員の派遣等により、自主防災組織の訓練実施などを支援する。</p> <p>3 企業防災力の強化促進 (9,884千円) 質の高いBCPの策定及びBCMの確立・実践を推進するため、県内企業への伴走型支援により、災害時にもしなやかに立ち直る企業のレジリエンスを強化する。</p>	78,417	0	29,884	0	48,533

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財源内訳			
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
被災者・被災地支援の推進	<p>1 兵庫県住宅再建共済制度の推進 (110,436千円) 被災した住宅の再建を支援する共助の仕組みである「兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）」の普及を図るため、加入促進の取組を引き続き推進する。 また、加入者を増加すべく、効果測定型のネット広告を出稿し、より優れた手法を案出する。</p> <p>2 東日本大震災等への支援 (2,531千円) 被災地の復興業務を支援するための職員派遣等を継続する。</p>	112,967	49,695	3	0	63,269
阪神・淡路大震災の経験・教訓の継承・発信	<p>1 「震災を風化させない」取組の推進 (8,119千円) 阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく次世代へ伝えるとともに、南海トラフ地震等大規模災害に備えるため、「ひょうご安全の日のつどい」や助成事業等を実施する。また、「新ひょうご防災アクション」を活用して、個人・地域・企業のそれぞれが自ら考え主体的に防災・減災活動に取り組む防災力強化県民運動を推進する。 あわせて、県民の自宅備蓄を更に促進すべく、全県で小売店舗等と連携・共同し、災害への備えの機運を醸成する。</p> <p>2 人と防災未来センターの運営 (569,592千円) 阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、国内外の災害による被害の軽減に貢献することを目的とする人と防災未来センターを運営する。</p> <p>3 国際防災・人道支援活動の推進 (19,020千円) 神戸東部新都心に集積する国際防災関係機関の活動を支援し、国際防災・人道支援活動を推進するとともに、これらの機関の有機的な連携を促進する。</p>	596,731	251,228	5,388	0	340,115
大阪・関西万博開催に向けた取組推進	<p>1 防災ツーリズムの推進 (10,470千円) 2025年の「大阪・関西万博」において、人と防災未来センター、三木の広域防災センター、E-ディフェンスをフィールドパビリオンとして活用する他、それらの防災関連資源と周辺の観光資源を組み合わせたツアー「防災ツーリズム」を実施することで、「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図り、阪神・淡路大震災からの「創造的復興」、「防災先進県ひょうご」としての取組を全国及び海外に発信する。 あわせて、公民連携による「防災まち歩き」を展開し、万博と同年の震災30年の節目に向けた機運を醸成する。</p>	10,470	3,442	0	0	7,028

令 和 5 年 度 重 要 施 策
(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特 定 財 源	起 債	一 般 財 源
広域防災の 推進	<p>1 関西広域連合の取組（一）</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症への取組 関西広域連合では、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、各構成団体の対応状況の共有や府県市民向け統一メッセージの発出、適時適切な国への各種提案等を実施するとともに、関西経済界との連携、検査・医療資器材の広域的な融通や患者の受入などを実施している。 引き続き、構成団体と連携・協調し、感染の動向を踏まえ、適切に対応を進めていく。</p> <p>(2) 関西全体の防災・減災対策の推進 南海トラフ地震等の大規模広域災害発生時における、広域連合、構成団体等の災害対応能力の向上を目指すため、関西災害時物資供給協議会に参画する民間事業者、ライフライン事業者、関係機関などと関西広域応援訓練（図上訓練・実動訓練）を実施し、関西防災・減災プラン等の計画の実効性の確保を図る。</p> <p>(3) 防災庁創設に向けた啓発活動 事前防災から復旧・復興までを担う専門組織である防災庁の創設について、国にその実現を働きかけるとともに、防災イベントや防災訓練など様々な機会を通じ、シンポジウム・セミナーの開催、パネル展示、啓発用動画の活用などにより、防災庁の必要性等を発信する。</p>	0	0	0	0	0

令和 5 年度 予算要求 一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課 名	令和 4 年度 当初予算額	令和 5 年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
総 務 課	99,333	86,126	0	4,303	0	81,823	
防 災 支 援 課	7,429,345	6,434,569	5,993,365	15,275	0	425,929	
災 害 対 策 課	380,183	391,389	43,800	45,765	0	301,824	
消 防 保 安 課	687,697	653,565	32,923	184,340	0	436,302	
合 計	8,596,558	7,565,649	6,070,088	249,683	0	1,245,878	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（危機管理部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（総務課） 防災企画費	81,047 (691,357)	69,731	0	4,303	0	65,428	危機管理体制の充実・強化等に要する経費 1 災害対策センター等管理運営費 51,236 2 地域防災計画推進事業費 282 3 防災対策企画調整費等 18,213
（防災支援課） 防災支援費	733,936 (123,626)	743,038	304,365	15,272	0	423,401	防災支援等に要する経費 1 避難者行動要支援者のための個別避難計画作成強化事業費 15,061 2 企業レジリエンス強化のためのBCP/BCM伴走型支援事業費 9,884 3 兵庫県住宅再建共済制度実施事業費 110,436 4 人と防災未来センター運営費 569,592 5 国際防災研究機関支援費 17,223 6 (新)南海トラフ地震に備えた自宅備蓄促進事業費 1,062 7 (新)防災ツーリズム推進事業費 10,470 8 「ひょうご安全の日」推進事業費等 9,310
被災者支援 対策費	6,409	2,531	0	3	0	2,528	東日本大震災の被災地支援等に要する経費
新型コロナウイルス 感染症対策費	6,689,000	5,689,000	5,689,000	0	0	0	無症状患者及び軽症患者が療養する宿泊施設の確保に要する経費

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（危機管理部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（災害対策課） 災 害 対 策 費	290,485	302,106	0	282	0	301,824	防災対策の充実に要する経費 1 24時間監視・即応体制等充実事業費 25,610 2 災害時情報連絡網運営費 6,294 3 ひょうご防災ネット運営費 27,681 4 合同防災訓練等実施事業費等 2,794 5 マイ避難カード全県展開避難行動支援 事業費等 1,150 6 兵庫衛星通信ネットワーク及び災害対応 総合情報ネットワーク運営費等 238,577
災 害 救 助 費	88,600	88,600	43,800	44,800	0	0	災害救助法に基づく応急災害救助の実施に要する経費
災 害 救 助 基 金 積 立 金	1,098	683	0	683	0	0	災害救助法に基づく災害救助基金の積立に要する経費
（消防保安課） 消 防 防 災 対 策 推 進 費	277,742	268,723	32,560	0	0	236,163	消防航空隊の活動、自主防災組織の育成、石油コンビナート等の災害防止に要する経費 1 石油コンビナート等災害防止事業費 31,182 2 自主防災活性化事業費等 1,402 3 ひょうご防災リーダー活動推進事業費 2,662 4 兵庫県消防防災航空隊活動事業費等 210,713 5 県立広域防災センター管理運営費等 14,316 6 防災人材育成拠点を活用した防災研修事業費 2,028 7 (新) 防災担い手確保事業 6,420

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（危機管理部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
消防指導対策費	172,809	169,593	363	134,214	0	35,016	市町消防機関との連携の強化、危険物施設等の安全確保等消防体制の充実・強化を図るために要する経費 1 消防設備士義務講習実施事業費 14,663 2 消防吏員併任事業費 10,474 3 消防関係団体組織強化対策事業費 4,836 4 救急業務高度化推進事業費 94,847 5 消防免状交付及び危険物取扱者保安講習等実施事業費 43,773 6 消防団活性化事業費 1,000
消防学校 維持運営費	184,510	189,539	0	24,416	0	165,123	消防学校の維持運営及び消防教育訓練の実施に要する経費 1 消防学校施設運営費 136,339 2 消防教育訓練事業費 6,567 3 防災人材育成拠点施設運営管理事業費等 46,633
産業保安対策費	52,636	25,710	0	25,710	0	0	高圧ガス、LPガス、火薬類及び電気工事等の保安を確保するため、関係法令に基づく許可・検査等に要する経費

令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

企 画 部

令和5年度重要施策体系表

(単位：千円)

政策形成の推進 (453, 142)	政策の企画・総合調整の推進 (27, 479)	県政課題等の総合調整の推進 (27, 479)
		地方分権の推進 (425, 663)
	地方分権の推進 (425, 663)	地方分権の推進 (18, 906)
		関西広域連合による広域行政の推進 (400, 281)
		兵庫県規制改革推進会議の取組の推進 (542)
特区制度の推進 (5, 934)		
新たな兵庫の創生に向けた総合的推進 (1, 625, 433)	ひょうごビジョン2050実現に向けた地域創生戦略等の推進 (783, 825)	ひょうごビジョン2050の推進 (24, 423)
		地域創生戦略の推進 (185, 322)
		兵庫の政策研究の推進 (111, 598)
		統計の着実な実施と利用の促進 (462, 482)
	地域振興の推進 (449, 917)	持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進 (200, 000)
		多様な地域資源の活用 (247, 818)
		公民連携の推進 (2, 099)
	2025年大阪・関西万博に向けた取組の展開 (150, 497)	「ひょうごフィールドパビリオン」の展開 (87, 905)
		万博会場等における県内魅力の発信 (54, 112)
		兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化の推進 (8, 480)
	エネルギー対策等の推進 (241, 194)	エネルギー対策の推進 (12, 517)
		水資源対策の推進 (228, 677)
スマート兵庫の実現 (2, 474, 796)	(2, 474, 796)	ICT・データ活用によるデジタル化 (33, 972)
		行政のデジタル化 (1, 141, 316)
		デジタル社会を支える基盤の強化 (1, 299, 508)

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
政策の企画・総合調整の推進	<p>1 県政課題等の総合調整の推進（27,479千円）</p> <p>多様化、複雑化する県民ニーズに的確に対応していくため、県政課題の総合調整と進行管理を行い、効果的な施策展開を推進する。</p> <p>また、県政の円滑な推進のために、国の予算編成等に対する提案活動を行うほか、SDGsの推進、eスポーツを活用した地域活性化などに取り組む。</p>	27,479	0	732	0	26,747
地方分権の推進	<p>1 地方分権の推進（18,906千円）</p> <p>国から地方への事務・権限の移譲、義務付け・枠付けの見直し等の地方分権改革や地方税財政の充実強化等を推進するため、全国知事会や近畿ブロック知事会等と連携し、国等への働きかけを行う。</p> <p>2 関西広域連合による広域行政の推進（400,281千円）</p> <p>構成団体と緊密な連携のもと、第5期広域計画（R5～R7）に基づき、防災等の7分野の広域事務及び企画調整事務を着実に実施する。分権型社会に向けては、関西を首都機能のバックアップの拠点とするなど国土の双眼構造の実現を求めていく。また、「ビジネスしやすい関西」をめざし、自治体ごとに異なる事業の手続きや規制について、広域的な様式・基準の統一を推進するほか、2025年の大阪・関西万博など世界的イベントを契機に関西全体の発展に向けた取組を進める。</p> <p>3 兵庫県規制改革推進会議の取組の推進（542千円）</p> <p>有識者で構成する兵庫県規制改革推進会議を引き続き設置し、社会構造や経済情勢の変化に対応できず地域活性化の支障となっている県及び市町の規制の見直しや、県民サービスの向上につながる行政手続の簡素化等に取り組む。</p> <p>4 特区制度の推進（5,934千円）</p> <p>(1) 関西圏国家戦略特区</p> <p>国家戦略特区法等で定められている既存の規制緩和メニューの活用を推進するとともに、民間事業者等の更なる事業展開を図るため新たな規制緩和メニューの創設を国に求める。</p> <p>(2) あわじ環境未来島特区</p> <p>あわじ環境未来島構想の実現を図るため、太陽光発電施設の立地促進や、バイオマスの利用促進など再生可能エネルギーの普及に努めるほか、農業人材の育成や農業の6次産業化による地域活性化など、特区制度を活用して事業を推進する。</p>	425,663	0	2,932	0	422,731

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
ひょうごビジョン2050実現に向けた地域創生戦略等の推進	<p>1 ひょうごビジョン2050の推進（24,423千円） 2022年3月に策定したひょうごビジョン2050で掲げためざす姿の実現に向け、実行計画である各分野計画に基づく施策を推進する。 また、ビジョン実現に向け、県民主体の実践活動の拡大を図るとともに、対話の場、学びの場を各地で展開し、県民参画による地域づくりを進める。 併せて、毎年度の推進状況を点検評価し、結果を公表する。</p> <p>2 地域創生戦略の推進（185,322千円） (1) 地域創生戦略の推進 ひょうごビジョン2050の策定やコロナ禍による社会潮流変化を踏まえ中間見直しを行う第2期戦略（2020～2024）の後期重点2カ年の取組方針に基づき、地域の元気づくり、社会増対策、自然増対策の取組を推進する。 (2) 市町と連携した移住施策の推進 全国からの移住相談に対応するカムバックひょうごセンターについて、東京・大阪の相談体制の拡充を図ることにより、県内市町との連携を強化するとともに、県有施設や市町の古民家を活用したお試し移住への支援などにより、大都市圏からの移住を進める。 (3) 交流・関係人口施策の推進 きめ細やかな地域情報を発信するひょうごe-県民制度について、今年度拡充した若者・子育て世代に向けたコンテンツを活用し、制度への加入を促進するほか、会員へのインセンティブ強化等により交流・関係人口を拡大する。</p> <p>3 兵庫の政策研究の推進（111,598千円） 震災の教訓と経験を生かしつつ、地域の課題に即した政策研究やその普及、活用を推進するため、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構への支援を行う。</p> <p>4 統計の着実な実施と利用の促進（462,482千円） 統計法等の法令に基づき、各種統計調査を着実に実施するとともに、統計資料の整備・分析を行い、人口・労働・経済・教育等の各分野における県勢の状況・年次推移・全国比較等を統計的に明らかにする。 県民等の社会・経済活動や、各種行政機関の政策形成への効果的な活用が図られるよう、インターネット等を活用した情報発信に取り組む。</p>	783,825	533,611	990	0	249,224
地域振興の推進	<p>1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進（200,000千円） 人口減少や高齢化の更なる進行による、多自然地域における小規模集落の増加や地域運営の担い手の枯渇などによって、県単独で展開してきた集落単位での維持・活性化対策が困難となっている。このため、支援対象を都市部の多自然地域を含めた全集落に拡大するとともに、旧小学校区等を単位とする住民主体の広域地域運営の体制を構築する。 また、推進にあたっては、市町による地域伴走体制の確保、県による市町への後方支援を基本とした県と市町の重層的な支援体制のもと、持続可能な生活圏形成を展開する。</p>	449,917	105,758	26,339	0	317,820

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳																							
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源																				
地域振興の推進	<p>2 多様な地域資源の活用 (247,818千円)</p> <p>(1) 日本遺産等の活用 全国最多9つの日本遺産、鳴門海峡の渦潮、山陰海岸ジオパークなど本県の多様な地域資源を活用した地域づくりや魅力発信に市町等と連携して取り組む。</p> <p>(2) 兵庫津ミュージアムを拠点とした地域資源の魅力発信 (事業内容) 昨年11月にグランドオープンした兵庫津ミュージアムにおいて、地域ゆかりの人材や日本遺産等を活かした、本県ならではの企画展・テーマ展や、地域団体・大学・アーティスト等の参画による、博物館の非日常空間を活かした“ユニークベニューイベント”の開催等を通じて、本県地域資源の魅力を発信する。 次代を担う子どもたちをはじめ、多様な層に五国の魅力を伝えるとともに、大阪・関西万博を見据え、フィールドパビリオンをはじめとする県内各地の魅力的なスポットへ、国内外の多くの人々を誘う取組を展開する。</p> <p>(施設概要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">県立兵庫津ミュージアム (神戸市兵庫区中之島二丁目)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>復元施設：初代県庁館</th> <th>博物館施設：ひょうごはじまり館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館時期</td> <td>令和3年11月3日 (水・祝)</td> <td>令和4年11月23日 (水・祝)</td> </tr> <tr> <td>規模等</td> <td>延床面積：約498㎡ (平屋建)</td> <td>延床面積：約4,029㎡ (地上4階建)</td> </tr> <tr> <td>整備方針内容</td> <td>現存する絵図等に基づき時代考証を行い、歴史空間を体感する施設として復元。 復元を基本に、その範囲内で一部活用できるように利便性も確保。</td> <td>歴史ミュージアム機能をもった県のPR施設として整備。千年の歴史を誇る港・兵庫津の歴史、変化・多様性に富む兵庫五国の魅力を発信するコンテンツを展示。</td> </tr> <tr> <td>主な建物又は諸室</td> <td>県庁舎、取次役所、旧同心屋敷、旧船見番小屋、門番所など</td> <td>展示室 (常設、企画)、ライブラリー、研修室、インフォメーションスペース、事務室など</td> </tr> <tr> <td>運営体制</td> <td colspan="2">総務・企画部門：指定管理者・アクト株式会社 (R4～)、学芸部門：県</td> </tr> </tbody> </table>	県立兵庫津ミュージアム (神戸市兵庫区中之島二丁目)			復元施設：初代県庁館	博物館施設：ひょうごはじまり館	開館時期	令和3年11月3日 (水・祝)	令和4年11月23日 (水・祝)	規模等	延床面積：約498㎡ (平屋建)	延床面積：約4,029㎡ (地上4階建)	整備方針内容	現存する絵図等に基づき時代考証を行い、歴史空間を体感する施設として復元。 復元を基本に、その範囲内で一部活用できるように利便性も確保。	歴史ミュージアム機能をもった県のPR施設として整備。千年の歴史を誇る港・兵庫津の歴史、変化・多様性に富む兵庫五国の魅力を発信するコンテンツを展示。	主な建物又は諸室	県庁舎、取次役所、旧同心屋敷、旧船見番小屋、門番所など	展示室 (常設、企画)、ライブラリー、研修室、インフォメーションスペース、事務室など	運営体制	総務・企画部門：指定管理者・アクト株式会社 (R4～)、学芸部門：県						
県立兵庫津ミュージアム (神戸市兵庫区中之島二丁目)																										
	復元施設：初代県庁館	博物館施設：ひょうごはじまり館																								
開館時期	令和3年11月3日 (水・祝)	令和4年11月23日 (水・祝)																								
規模等	延床面積：約498㎡ (平屋建)	延床面積：約4,029㎡ (地上4階建)																								
整備方針内容	現存する絵図等に基づき時代考証を行い、歴史空間を体感する施設として復元。 復元を基本に、その範囲内で一部活用できるように利便性も確保。	歴史ミュージアム機能をもった県のPR施設として整備。千年の歴史を誇る港・兵庫津の歴史、変化・多様性に富む兵庫五国の魅力を発信するコンテンツを展示。																								
主な建物又は諸室	県庁舎、取次役所、旧同心屋敷、旧船見番小屋、門番所など	展示室 (常設、企画)、ライブラリー、研修室、インフォメーションスペース、事務室など																								
運営体制	総務・企画部門：指定管理者・アクト株式会社 (R4～)、学芸部門：県																									
	<p>3 公民連携の推進 (2,099千円)</p> <p>複雑化する社会課題を解決するため、行政と企業・大学・団体等との幅広い連携やネットワークの構築を推進する。</p> <p>(1) ひょうご公民連携プラットフォームの情報発信強化 令和3年10月に創設した「ひょうご公民連携プラットフォーム」における企業とのネットワーク拡大やSDGs公民共創プロジェクト等の連携プロジェクトの展開を図るため、情報発信・マッチング機能を強化する。</p>																									

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
2025年大阪・関西万博に向けた取組の展開	<p>1 「ひょうごフィールドパビリオン」の展開（87,905千円）</p> <p>ひょうごフィールドパビリオンの展開に向けて、SDGs 体験型地域プログラムの募集を継続するとともに、認定したプログラムに対する磨き上げを行うほか、国内外へのプロモーションを実施する。</p> <p>2 万博会場等における県内魅力の発信（54,112千円）</p> <p>(1) 万博会場「兵庫棟(仮称)」及び県立美術館ギャラリーの展示</p> <p>万博会場「兵庫棟(仮称)」及び県内拠点である県立美術館ギャラリーについて、今年度策定予定の展示基本計画を踏まえ、展示設計等を進める。</p> <p>(2) イベント等の実施による県内魅力の発信</p> <p>万博開催に向けた機運を盛り上げるため、開催500日目の節目にイベントを開催する。また、今年度設置予定の市町や民間事業者を含めた全県的な推進組織により、関係者と方向性を共有・連携しながら、兵庫の魅力を発信する。</p> <p>3 兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化の推進（8,480千円）</p> <p>万博を契機に、人・モノ・投資を呼び込むため、今年度策定予定の「兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」に基づき、公民が連携してプロジェクトを展開していく。</p>	150,497	4,240	4,650	0	141,607
エネルギー対策等の推進	<p>1 エネルギー対策の推進（12,517千円）</p> <p>(1) 水素社会の実現に向けた取組の推進</p> <p>2050年カーボンニュートラルに向けた兵庫水素社会の実現のため、知事をトップとする「ひょうご水素・脱炭素社会推進本部」のもと、産学官が参画する会議や自治体連絡協議会を開催し、水素の新たな利活用策や県内水素拠点の形成に向けた機運醸成等の検討を進める。</p> <p>また、水素社会の実現に向けた県民の理解や機運醸成を図るため、水素エネルギーについて周知・啓発するイベントの開催や、小学生向けの啓発動画等を作成する。</p> <p>(2) 海洋エネルギー資源開発に向けた取組の推進</p> <p>表層型メタンハイドレートの開発促進のため、「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」と連携し、国に対して、実用化に向けた資源の回収・生産技術に係る研究開発の着実な実施の働きかけや、開発機運の醸成等に取り組む。</p> <p>2 水資源対策の推進（228,677千円）</p> <p>「ひょうご水ビジョン」に基づき、水と共生する県民生活の構築に向け、県民意識の醸成や広域的な水資源調整を推進する。</p>	241,194	49,175	9,339	118,200	64,480

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
スマート兵庫の実現		2,474,796	0	135,709	0	2,339,087
	<p>1 ICT・データ利活用によるデジタル化（33,972千円）</p> <p>(1) スマートシティモデル事業の推進 地域が抱える課題をICTやデータの利活用により解決するスマートシティのモデルとなる市町の取組を、県・企業等が連携して支援し、成果を県内市町に展開する。</p> <p>(2) デジタルデバイドの解消 デジタル活用のインターフェースであるスマホの更なる利用拡大に向け、高齢者等を対象に、身近に行政サービスの利用を学ぶ機会の提供や相談できる者の育成に取り組む。</p> <p>2 行政のデジタル化（1,141,316千円）</p> <p>(1) 行政手続オンライン化の推進 県民、事業者の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、「オンラインが原則。紙でもできる」を基本方針として、効果性・実現性の高い手続から優先してオンライン化に取り組む。</p> <p>(2) ワークスタイルの変革 県庁の生産性向上を図るため、AI チャットボット・RPA 等による「事務の自動化・効率化」、テレビ会議システムやペーパーレス会議システムによる「会議の改革」、在宅勤務システムや出張先での利用が可能なモバイル端末を活用した「テレワークの推進」に取り組む。</p> <p>3 デジタル社会を支える基盤の強化（1,299,508千円）</p> <p>(1) デジタル化を支える基盤の活用 ア 高速通信ネットワーク基盤である「兵庫情報ハイウェイ」や「兵庫情報スーパーハイウェイ」、在宅勤務システム基盤である「テレワーク兵庫」を活用することにより、企業誘致の取組や働き方改革を促進する。 イ 県立施設に整備したローカル5G設備を活用したデモンストレーション等、先導的な取組を行う。また、県施設を活用した通信事業者による5G基地局整備を促進するとともに、公衆Wi-Fiの運用を実施する。</p> <p>(2) 情報セキュリティ対策の推進 急速に増加するインターネットからの標的型攻撃対策を徹底するため、兵庫県情報ハイウェイを活用して県及び市町のインターネット接続口を集約する「兵庫県情報セキュリティクラウド」の活用や外部セキュリティ監査の導入など、情報セキュリティ対策を実施する。</p> <p>(3) 自治体システム標準化の推進 国が進める令和7年度の基幹業務システムの統一・標準化に向けた準備を進めるとともに、市町の取組を支援する。</p>					

令和5年度予算要求一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	38,388	38,174	0	0	0	38,174	
総合政策課	11,024	27,479	0	732	0	26,747	
広域調整課	345,879	419,899	0	0	0	419,899	
計画課	2,130,377	450,024	66,503	12,515	118,200	252,806	
地域振興課	1,256,531	568,438	162,574	27,329	0	378,535	
万博推進課	23,900	150,497	4,240	4,650	0	141,607	
情報政策課	42,978	74,482	0	880	0	73,602	
デジタル改革課	2,428,092	2,450,314	0	134,829	0	2,315,485	
統計課	254,393	462,482	459,467	0	0	3,015	
合計	6,531,562	4,641,789	692,784	180,935	118,200	3,649,870	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（企画部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（総合政策課） 県行政企画 調整費	11,024	27,479	0	732	0	26,747	県行政の総合調整等に要する経費 1 eスポーツを活用した地域活性化 事業費 2,000 2 (新)SDGs推進事業費 9,269 3 総合調整経費等 16,210
（広域調整課） 広域行政推進費	345,879	419,899	0	0	0	419,899	広域行政の推進に要する経費 1 全国知事会等分担金 17,561 2 関西広域連合分担金 398,595 3 地域開発関連団体等分担金 650 4 兵庫県規制改革推進会議運営費等 3,093
（計画課） ビジョン推進費	136,853	128,760	0	0	0	128,760	ビジョンの推進等に要する経費 1 全県ビジョン推進費 4,469 2 新ビジョン推進費 12,693 3 県史編纂事業費 22,500 4 (公財)ひょうご震災記念21世紀 研究機構運営補助事業費等 89,098
地 域 創 生 事 業 費	83,942 (49,731)	79,826	17,328	2,932	0	59,566	地域創生の推進に要する経費 1 兵庫県地域創生戦略推進事業費 7,261 2 (一財)淡路島くうみ協会運営 補助事業費 27,090 3 「ひょうご五国の地域創生」広報 展開事業費 26,176 4 EVアイランドあわじ推進事業費 5,764 5 地域振興調整費等 13,535
エ ネ ル ギ ー ・ 水 資 源 総 合 調 整 費	160,674	192,498	479	9,339	118,200	64,480	次世代エネルギー開発等の推進に要する経費 1 水素社会普及促進事業費 6,801 2 海洋エネルギー資源開発促進事業費 952 3 日本海側におけるエネルギーセキュ リティ検討事業費 2,000 4 全国水需給動態調査事業費 479 5 水源開発事業会計補助金 60,727 6 水道用水供給事業出資金 118,251 7 (新)豪州との連携促進事業費 2,764 8 水資源開発推進調整事業費等 524

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（企画部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
発電用施設周辺 地域整備費	48,686	48,696	48,696	0	0	0	発電用施設周辺地域の整備に要する経費
（地域振興課） 地域振興 推進費	281,247	258,075	102,123	26,339	0	129,613	地域振興の推進に要する経費 1 日本遺産の活用促進事業費 4,800 2 地域経済循環創造事業費 20,000 3 離島航路総合支援事業費 8,035 4 新 躍動する兵庫応援事業 （多自然地域支援枠） 200,000 5 地域振興推進費等 25,240
地域創生 事業費	126,479	118,521	56,816	990	0	60,715	地域創生の推進に要する経費 1 カムバックひょうご促進事業費 47,351 2 ひょうごe-県民登録促進事業費 64,187 3 ひょうごで暮らす！体験キャンペーン 事業費等 6,983
公民連携推進費	3,820 (13,820)	2,099	0	0	0	2,099	公民連携等に要する経費 1 ひょうご公民連携プラットフォーム 推進事業費 2,099
兵庫津ミュージ アム運営費	834,985	189,743	3,635	0	0	186,108	県立兵庫津ミュージアムの運営に要する経費 1 県立兵庫津ミュージアム運営費 189,743
（万博推進課） 万博推進費	23,900 (0)	150,497	4,240	4,650	0	141,607	万博を契機とした兵庫の活力促進に要する経費 1 兵庫棟（仮称）等展示企画事業費 50,000 2 兵庫域域の大阪湾へエリア活性化推進 事業費 8,480 3 新 ひょうごフィールド・パビリオンSDGs体験型 地域プログラム磨き上げ事業費 20,000 4 新 ひょうごフィールド・パビリオン・プ ロモーション 事業費 50,000 5 2025年大阪・関西万博ひょうご協働 体制整備事業費等 22,017

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（企画部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（情報政策課） 情報管理推進費	9,368	26,664	0	0	0	26,664	情報管理の総合的な推進に要する経費 1 県立施設の公衆無線LAN運用事業費 20,636 2 情報化推進事業費等 6,028
地 域 情 報 化 推 進 費	33,610	47,818	0	880	0	46,938	地域情報化の推進等に要する経費 1 ローカル5G活用支援事業費 19,874 2 デジタルデバйд解消プロジェクト 事業費 2,124 3 スマートシティモデル推進事業費等 25,820
（デジタル改革課） 情報管理推進費	1,403,862	1,419,956	0	134,367	0	1,285,589	情報管理の総合的な推進に要する経費 1 総合的情報通信ネットワーク推進 事業費 99,657 2 電子申請システム推進事業費 22,443 3 社会保障・税番号制度関連システム 整備事業費 38,850 4 マイナンバーネットワーク構築事業費 47,819 5 行政手続オンライン化推進事業費 51,365 6 県庁WAN運用推進事業費 728,370 7 総務事務システム推進事業費 150,738 8 新 市町の基幹業務システムの統一・ 標準化支援事業費 8,887 9 電子計算組織運用事業費等 271,827
地 域 情 報 化 推 進 費	1,024,230	1,030,358	0	462	0	1,029,896	地域情報化の推進等に要する経費 1 兵庫情報ハイウェイ運用事業費 957,326 2 在宅勤務システム基盤整備事業費 70,875 3 テレビ会議システム推進事業費 2,157
（統計課） 労働統計調査費	80,234	82,969	82,969	0	0	0	労働関係の諸統計調査に要する経費 1 労働力調査費 55,652 2 毎月勤労統計調査費 27,317

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（企画部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
経済統計調査費	155,303	337,239	337,239	0	0	0	経済関係の諸統計調査に要する経費 1 住宅・土地統計調査費 269,034 2 家計調査費等 68,205

※令和4年度当初予算計上額は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和4年度当初予算計上額を（ ）書きした。

令和5年度予算要求一覧表

(特別会計)

(単位：千円)

会 計	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
基 金 管 理 計 特 別 会 計	705,567	0	0	0	0	繰越金 0	
計	705,567	0	0	0	0	繰越金 0	

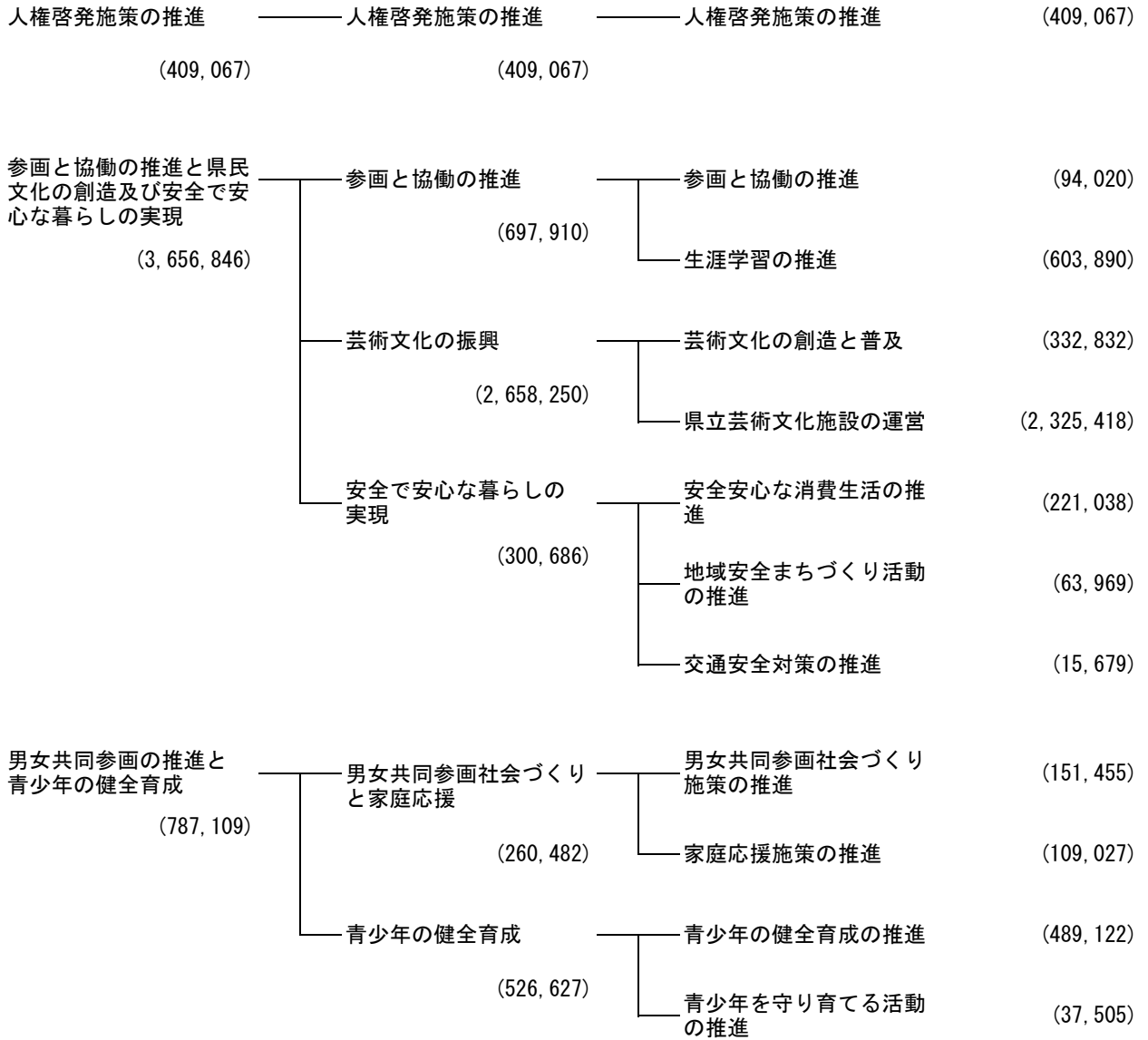
令和 5 年度当初予算要求概要について

令和 5 年 1 月 1 6 日

県 民 生 活 部

令和5年度重要施策体系表

(単位：千円)



令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特 定 財 源	起 債	一 般 財 源
人権啓発施策の推進	<p>1 人権啓発施策の推進 (409,067千円)</p> <p>(1) 「人権文化をすすめる県民運動」の推進 県民の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めるため、「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づき、人権啓発イベントをはじめ、人権総合情報誌、新聞広告、啓発ポスター等様々な人権啓発活動を展開する。</p> <p>(2) 様々な人権課題に対応した取組の強化 部落差別や北朝鮮当局による拉致問題、インターネット上の人権侵害、LGBT等性的少数者への偏見や差別、コロナ差別など、様々な人権課題に対応するため、関係機関・団体と連携し、啓発や相談の強化に取り組む。</p> <p>(3) 市町支援事業の推進 職員研修や補助事業等により、市町が実施する地域の実情に応じた多様な啓発事業を支援するほか、隣保館の運営や整備に対して補助金を交付するなど市町の取組を支援する。</p> <p>(4) 総合的・効果的な施策の推進 庁内全部局で構成する「人権施策推進会議」において、多様化する人権課題に対応した施策の検討を行うとともに、学識者等で構成する「人権擁護推進懇話会」での意見を踏まえ、「ひょうご人権ネットワーク会議」を構成する関係団体等と連携を図りながら、施策を効果的に推進する。</p>	409,067	234,738	0	0	174,329
参画と協働の推進	<p>1 参画と協働の推進 (94,020千円)</p> <p>(1) 県民の参画と協働の推進 参画と協働の推進方策に基づき、住民主体の地域づくり活動への支援と、県の政策形成への参画機会の提供など県民とのパートナーシップによる取組を推進する。</p> <p>(2) 地域づくり活動への支援 インターネット情報誌「ふるさと兵庫すごいすと」により、地域活動や人材に関する情報を発信するとともに、地域団体が抱える課題解決に向け、「ふれあい活動アドバイザー」を派遣し、相談・助言等を行う。</p> <p>(3) 県民ボランティア活動の推進 ひょうごボランティアプラザを拠点として、団体・グループ、NPO、学生等の多様な主体の交流・ネットワーク化の支援、ひょうごボランティア基金を活用したボランティアグループやNPO等への助成、災害ボランティアの活動支援等に取り組む。 また、適正な NPO法人運営のための指導助言を行う。</p> <p>2 生涯学習の推進 (603,890 千円)</p> <p>(1) 生涯学習・実践活動への総合的支援 県民の主体的な学びと実践活動を支援するため、相談・情報提供等を実施するとともに、各地域での活動交流拠点となる生活創造センターや文化会館等を運営する。</p> <p>(2) 高齢者学習の推進 高齢者の地域社会での一層の活躍を促進するため、いなみ野学園や阪神シニアカレッジ、県内5地域の地域高齢者大学において、活動意欲や実践力を高める講座を提供する。</p>	697,910	5,485	98,790	0	593,635

令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要求額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
芸術文化の振興	<p>1 芸術文化の創造と普及 (332,832千円)</p> <p>(1) 芸術文化の鑑賞機会の提供 学校・市町ホールなど身近な場所での舞台芸術の鑑賞機会の提供や、芸術家等によるアウトリーチ活動、障害のある方への鑑賞サポートを実施する等により、県民誰もが本物の芸術文化に親しむ環境の充実に努める。また、伝統文化の普及に向け学校への出前講座や、体験事業を実施する。</p> <p>(2) 多彩な芸術活動への支援 県内を拠点とする芸術家への活動支援やひょうごアーティストサロンによる新進・若手芸術家への活動支援等を実施する。 また、コロナ禍で始めた指導動画のWEB配信やリモートレッスン等、ICTを活用した取組を進め、どの地域に住む人も優れた指導に触れる機会の充実に努める。</p> <p>(3) ひょうごプレミアム芸術デーの開催 令和4年度から開始した「ひょうごプレミアム芸術デー」について、対象施設を市町立の芸術文化施設にも広げる取組を行う。また、障害者や子育て中の方なども鑑賞しやすい環境を整える。</p> <p>(4) 地域と連携した芸術文化の魅力発信 万博を視野に入れ、兵庫陶芸美術館で地元陶磁器組合との連携事業を始めるなど、兵庫が持つ高い芸術・文化の魅力を活かした取組を進める。</p> <p>2 県立芸術文化施設の運営 (2,325,418千円)</p> <p>(1) 兵庫陶芸美術館の運営 丹波焼等の陶芸文化の発信・交流拠点として、特別展やテーマ展を開催するほか、陶芸ワークショップ等の実施、学校・地域との連携事業を展開する。</p> <p>(2) 県立芸術文化センターの運営 自ら創造・発信する「パブリックシアター」として、佐渡監督プロデュースオペラ等の自主企画公演や、中学生向けの「わくわくオーケストラ教室」など多彩な事業を展開する。</p> <p>(3) 県立尼崎青少年創造劇場の運営 舞台芸術創造活動の拠点として、演劇等の鑑賞機会の提供や演劇学校等での人材育成を行う。そのほか中学生向けの「ピッコロわくわくステージ」などを展開する。</p> <p>(4) 県立美術館王子分館の運営 原田の森ギャラリーでは、広く県民の作品発表・創作活動の場を提供するほか、横尾忠則現代美術館において、企画展の開催や公開制作等関連イベントなどを展開する。</p>	2,658,250	1,340	1,122,750	0	1,534,160

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費の	財 源 内 訳			
		要 求 額	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
安全で安心な暮らしの実現	<p>1 安全安心な消費生活の推進 (221,038千円)</p> <p>(1) 相談対応の充実等 消費者被害の防止・救済機能を高度化し、消費生活総合センターを中心として広域的・専門的な相談に対応するとともに、市町の相談対応力を高めるための支援を充実する。また、次期ひょうご消費生活プラン(R6~R8)の策定を行う。</p> <p>(2) 消費者教育・活動の推進 成年年齢引下げもあり増加する若年層の消費者トラブルへの対応として、高校等への出前講座や大学生の消費者リーダーの養成を行う。また、高齢者等の消費者トラブル防止に向け、市町、関係機関・団体と連携して地域の見守り体制の強化を図る。SDGsの取組として、エシカル消費の推進に関する消費者向けのセミナー等を開催する。</p> <p>(3) 事業者指導の強化 景品表示法や特定商取引法、消費生活条例に基づき、不当な表示や取引行為を行う事業者への指導等を強化する。</p> <p>2 地域安全まちづくり活動の推進 (63,969千円)</p> <p>(1) 地域安全まちづくり活動の推進 「第6期地域安全まちづくり推進計画」(R4~R6)に基づき、安全で安心な兵庫の実現に向け、地域安全まちづくり活動を支援する施策を推進する。</p> <p>(2) 子どもの安全確保 効果的な見守り活動を学ぶ子どもの安全・安心確保リーダーの養成講座や自治会等による防犯講習会の開催を支援する。</p> <p>(3) 防犯に配慮した環境の整備 防犯カメラの設置を支援するほか、客引き行為等について禁止地区に指定している三宮北部地域を中心に、巡回・指導を実施する。</p> <p>(4) 犯罪被害者等の支援 令和4年度中の制定を目指す「犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例(仮称)」に基づき、総合的な支援窓口の設置など犯罪被害者等支援に取り組む。また、性被害ケアセンター「よりそい」を運営し、警察に相談することができない性暴力被害者等の専用相談窓口を設置し、医療機関等への付き添いやカウンセリング等の支援を行う。</p> <p>(5) 再犯防止対策の推進 「兵庫県再犯防止推進計画」(R5.3策定予定)に基づき、国、県、市町、関係機関・団体における情報共有や連携強化に取り組み、就労、住居、福祉等の分野での支援を推進する。</p> <p>3 交通安全対策の推進 (15,679千円)</p> <p>(1) 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の実施 県民の参画と協働のもと、四季の交通安全運動や横断歩道合図(アイズ)運動などを展開し、交通安全意識の高揚、交通事故防止を図る。</p> <p>(2) 子ども・高齢者の交通安全対策の推進 子どもの交通安全対策として、交通安全教室や交通安全だよりの配信を行う。 高齢者の交通安全対策として、出前講座の実施や安全運転サポート車の普及促進を行う。</p> <p>(3) 自転車の交通安全対策の推進 高校でのスタントマンの実演による安全教室や自転車保険の加入促進を行う。また、令和5年4月からヘルメットの着用が努力義務化されることを踏まえ啓発を強化する。</p>	300,686	149,499	1,323	0	149,864

令 和 5 年 度 重 要 施 策

(単位：千円)

施 策 名	施策の目的と概要	所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特 定 財 源	起 債	一 般 財 源
男女共同参画社会づくりと家庭応援	<p>1 男女共同参画社会づくり施策の推進 (151,455千円)</p> <p>(1) 男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進 男女共同参画センターにおいて、一般県民や企業等へのセミナーや、カウンセラー等による悩み相談、ハローワークと連携した女性の就労支援等を実施する。</p> <p>(2) 女性活躍の推進 企業の女性活躍推進のため、個別訪問や研修を実施するほか、「ひょうご女性活躍推進企業認定制度」(ひょうごミモザ企業)により企業の取組の加速化を図るとともに、認定企業を広く学生等にPRする。</p> <p>2 家庭応援施策の推進 (109,027千円)</p> <p>(1) ひょうご出会い支援事業の実施 AIを活用した新しいマッチングシステムの運用により、結婚を希望する男女の出会いをサポートする。また、市町や協賛企業・NPOと連携した出会いイベントを実施する。</p> <p>(2) 家庭応援の取組 家族・家庭について考える契機とする「家族の日」運動のほか、男性の家事・育児参画を促進するためのセミナーやWEBによる情報発信、企業への出前講座を実施する。</p>	260,482	28,372	28,279	0	203,831
青少年の健全育成	<p>1 青少年の健全育成の推進 (489,122千円)</p> <p>(1) 青少年の体験活動等の推進 コロナ禍等で家にこもりがちな子どもたちに対し屋外での遊びや体験活動を提供する取組を推進する。また、若いリーダーを育成するため、地域住民や企業と連携した青少年グループの活動を支援する。</p> <p>(2) 県立いえしま自然体験センター・県立こどもの館の運営 「いえしま自然体験センター」では、瀬戸内の豊かな自然の中で多様な体験・実践型のプログラムや指導者養成を行う。「こどもの館」では、県内児童館の中核拠点として指導・研修を行うとともに、遊びや創作活動を通じ、子どもの健やかな成長を支援する。</p> <p>(3) ひきこもりに対する支援 「兵庫県ひきこもり相談支援センター」での電話・来所相談や訪問支援、居場所の提供のほか、サポーターの育成や地域ネットワーク会議の開催など市町への支援を行う。</p> <p>(4) 県立神出学園・県立山の学校の運営 寮での共同生活や野外作業・ものづくり体験等を通して、ひきこもり・不登校等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援する。</p> <p>2 青少年を守り育てる活動の推進 (37,505千円)</p> <p>(1) 青少年愛護活動の展開 青少年愛護条例に基づき、有害環境から青少年を守り、非行防止を図るため、推進員による調査・指導、地域、学校、事業者、行政、保護者等の連携による取組により、青少年を取り巻く良好な環境づくりを推進する。</p> <p>(2) 青少年の安全安心なインターネット利用の推進 過度なネット利用による健康面への影響や犯罪被害を防止するため、青少年自ら考えるワークショップ等の開催、利用についてのルールづくり支援、SNSを活用した啓発等、年齢層に合わせた幅広い取組を展開する。</p>	526,627	19,578	12,975	0	494,074

令和 5 年 度 予 算 要 求 一 覧 表

(一般会計)

(単位：千円)

課 名	令和 4 年 度 当 初 予 算 額	令和 5 年 度 予 算 要 求 額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
総 務 課	47,344	49,309	0	0	0	49,309	
総 務 課 (人権推進班)	391,143	415,721	234,738	0	0	180,983	
県 民 生 活 課	595,168	612,392	5,485	13,273	0	593,634	
芸 術 文 化 課	2,305,518	2,372,547	1,340	837,048	0	1,534,159	
生 活 安 全 課	340,758	330,686	149,499	1,323	0	179,864	
男 女 青 少 年 課	807,053	805,859	49,007	41,254	0	715,598	
合 計	4,486,984	4,586,514	440,069	892,898	0	3,253,547	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（県民生活部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（総務課） 人権啓発推進費	384,489	409,067	234,738	0	0	174,329	人権啓発施策の推進に要する経費 1 人権文化をすすめる県民運動推進費 45,279 2 人権啓発事業費 22,026 3 （公財）兵庫県人権啓発協会運営費補助 52,532 4 隣保館活動促進費 267,073 5 人権ネットワーク事業費 8,055 6 インターネットモニタリング事業費 2,658 7 人権擁護サポート事業費 5,586 8 新 人権に関する県民意識調査費 3,461 9 市町指導監督費等 2,397
（県民生活課） 生涯学習振興費	353,430	333,432	0	273	0	333,159	県民の生涯学習活動の支援に要する経費 1 生涯学習情報コーナー運営費 5,490 2 嬉野台生涯教育センター管理運営費 95,233 3 神戸生活創造センター管理運営費 37,510 4 東播磨生活創造センター管理運営費 26,154 5 丹波の森公苑管理運営費 31,274 6 文化会館等管理運営費等 137,771
参画と協働 総合推進費	66,547	94,020	5,485	13,000	0	75,535	県民の参画と協働の総合的な推進に要する経費 1 県民生活審議会運営費 861 2 ひょうごボランティアプラザ運営費 57,912 3 ふるさと兵庫「すごいすと」情報発信事業費 10,971 4 NPO法人認定・認証事務費等 24,276
高齢者大学 開設費	175,191	184,940	0	0	0	184,940	高齢者の学習を通じた生きがいづくりの支援に要する経費 1 （公財）兵庫県生きがい創造協会運営費補助事業費 82,866 2 阪神シニアカレッジ運営費 43,362 3 いなみ野学園運営費等 58,712

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（県民生活部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（芸術文化課） 兵庫陶芸美術館 運 営 費	240,876	184,517	0	52,225	0	132,292	兵庫陶芸美術館の運営に要する経費 1 展覧会開催費 70,000 2 創作学習・人材養成等事業費 4,437 3 地域連携等体制強化事業費 2,412 4 兵庫陶芸美術館管理運営費 103,070 5 兵庫陶芸美術館来館者倍增作戦事業費 2,867 6 新 陶芸美術館魅力発信事業費 1,731
芸術文化振興費	381,317	419,635	1,340	240,777	0	177,518	県民の芸術文化振興を図るために要する経費 1 芸術文化に親しむひょうご推進事業費 8,040 2 横尾忠則現代美術館運営費 111,899 3 原田の森ギャラリー運営費 48,896 4 （一財）地域創造負担金 10,716 5 アート de 元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業費 2,140 6 伝統文化の担い手育成事業費 10,400 7 ひょうご“つながろうアート”応援プロジェクト事業費 1,000 8 （公財）兵庫県芸術文化協会補助事業費等 101,226 9 舞台芸術鑑賞機会創出事業費 20,000 10 ひょうごプレミアム芸術デー開催事業費 8,525 11 ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業費 13,200 12 県民文化普及事業費 24,061 13 つながる芸術文化プロジェクト推進費 12,632 14 青少年リモートレッスン人材育成事業費 1,458 15 新 県民芸術劇場ブラッシュアップ事業費 35,442 16 新 万博に向けた芸術文化魅力発信事業費 10,000
芸術文化センター運営費	1,266,974	1,227,311	0	383,168	0	844,143	芸術文化センターの運営に要する経費 1 創造・公演事業費 353,000 2 芸術文化センター管理運営費 874,311
付属交響楽団 運 営 費	326,745	323,675	0	0	0	323,675	芸術文化センター管絃楽団の運営に要する経費

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（県民生活部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（生活安全課） 消 費 生 活 行 政 推 進 費	238,728	218,547	145,254	1,323	0	71,970	安心安全な消費生活の推進に要する経費 1 消費者教育推進プロジェクト事業費 14,012 2 大学生による次世代への消費者教育 事業費 2,564 3 高齢者・障害者等の特殊詐欺等被害防止 啓発事業費 3,735 4 暮らしの安全安心サポート体制強化 事業費 31,653 5 消費者被害救済対策事業費 5,433 6 消費者行政推進・強化事業費 108,359 7 専門家による市町消費生活相談員支援強 化事業費等 52,791
地 域 防 犯 対 策 推 進 費	83,216	63,969	4,245	0	0	59,724	地域安全まちづくり活動の支援に要する経費 1 性被害ケアセンター設置等犯罪被害者等 支援事業費 7,806 2 地域安全まちづくり活動活性化事業費 2,857 3 地域で守る！子どもの安全安心確保 事業費 1,506 4 防犯カメラ設置補助事業費 15,000 5 ひょうご地域安全SOSキャッチ事業費 4,356 6 新 犯罪被害者等支援推進事業費 10,349 7 新 再犯防止推進体制強化事業費 1,000 8 客引き行為等の防止に関する条例推進事 業費等 21,095
交 通 安 全 対 策 推 進 費	16,319	15,679	0	0	0	15,679	県民の交通安全意識を高揚し、交通事故防止 を図るために要する経費 1 交通安全対策会議等運営費 415 2 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動 推進事業費 3,581 3 自転車安全利用啓発事業費 5,628 4 交通事故相談所運営費 6,055

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（県民生活部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(男女青少年課) 男女共同参画 推 進 費	68,336	71,927	16,515	25,821	0	29,591	男女共同参画推進体制の充実強化等に要する経費 1 女性の就業サポート事業費 24,321 2 ひょうご女性の活躍推進事業費 17,439 3 中小企業における女性活躍推進事業費 2,376 4 企業における女性活躍推進グループ活動支援事業費 1,500 5 つながりサポート型女性相談支援事業費 11,300 6 新 ひょうごミモザ企業認定普及推進事業費 4,577 7 男女共同参画推進員活動支援事業費等 10,414
家庭支援対策費	9,551	8,438	1,909	0	0	6,529	家庭に関する施策の総合的な企画及び推進等に要する経費 1 ひょうご家庭応援県民運動推進事業費 971 2 母親クラブ(地域組織)育成費補助事業費 800 3 新 男性の家事・育児推進事業費 3,818 4 地域・家庭の伝統行事普及推進事業費等 2,849
少 子 対 策 総 合 推 進 費	142,185	100,589	9,948	0	0	90,641	総合的な少子対策の推進等に要する経費 1 ひょうご出會支援事業費 72,481 2 ひょうご子育て応援の店普及事業費 3,776 3 子育てほっとステーション設置事業費 1,250 4 子育て応援ネット推進事業費等 23,082
青 少 年 施 策 総 合 調 整 費	133,070	151,724	17,233	0	0	134,491	青少年に関する施策の総合的な企画及び推進等に要する経費 1 兵庫ひきこもり相談支援センター設置運営事業費 11,497 2 青少年団体活動促進助成事業費 8,009 3 ひょうごっ子・ふるさと塾事業費 3,978 4 SDGs HYOGO青年チャレンジ事業費 7,135 5 (公財)兵庫県青少年本部運営費等 121,105

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（県民生活部）

（単位：千円）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
青少年非行 対 策 費	37,410	37,505	2,345	0	0	35,160	青少年の非行対策に要する経費 1 青少年愛護活動推進員設置事業費 23,611 2 JKビジネス対策推進事業費 5,706 3 青少年インターネット利用対策事業費 1,766 4 新 青少年のスマホ等の適切な利用推進 事業費 5,050 5 青少年愛護条例推進費等 1,372

令和 5 年 度 予 算 要 求 一 覧 表

(特別会計)

(単位：千円)

会 計	令 和 4 年 度 当 初 予 算 額	令 和 5 年 度 予 算 要 求 額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
勤 労 者 総 合 福 祉 施 設 整 備 事 業 特 別 会 計	524,396	416,221	0	416,219	0	繰越金 2	
基 金 管 理 特 別 会 計	1,238,467	0	0	0	0	繰越金 0	
合 計	1,762,863	416,221	0	416,219	0	繰越金 2	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（勤労者総合福祉施設整備事業特別会計）

（単位：千円）（県民生活部）

事 項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（県民生活課） 丹波の森公苑 運 営 費	187,007	85,518	0	85,517	0	（繰越金） 1	丹波の森公苑の運営に要する経費 1 丹波の森公苑管理運営費 82,603 2 丹波の森公苑改修事業費 2,915
（芸術文化課） 尼崎青少年創造 劇 場 運 営 費	143,709	137,424	0	137,423	0	（繰越金） 1	尼崎青少年創造劇場の運営に要する経費
ピッコロ劇団 運 営 費	193,680	193,279	0	193,279	0	0	ピッコロ劇団の運営に要する経費 1 芸術文化センター中ホール公演事業費 26,030 2 ピッコロわくわくステージ開催費 16,016 3 ピッコロ劇団県内市町ホール公演費 3,527 4 ピッコロ劇団運営費等 147,706

地域創生及びエネルギー対策等の推進について

令和5年1月16日

企画部総合企画局

計画課

< 目 次 >

I ひょうごビジョン 2050 の推進

- 1 ひょうごビジョン 2050 の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 ビジョンのフォローアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

II 地域創生の推進

- 1 兵庫県地域創生戦略（2020～2024）の中間見直し・・・・・・・・ 8
- 2 戦略の実施状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3 地域創生広報の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（参考）市町における地域創生の取組支援・・・・・・・・ 11

III エネルギー対策等の推進

- 1 水素社会の実現に向けた取組の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 海洋エネルギー資源開発の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3 発電所周辺地域の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

IV 総合的な水資源対策等の推進

- 1 ひょうご水ビジョンの展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2 水資源対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

I ひょうごビジョン 2050 の推進

1 ひょうごビジョン 2050 の推進

ビジョンの実現に向け、各分野計画に基づく県施策を推進。また、各地域の個性を伸ばす取組の支援、対話と学びの場づくりの推進など、「誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」の実現をめざす。

(1) ひょうごビジョン 2050 の概要

● ビジョンの役割

- ①基本的な性格
 - ・県民が共にめざす姿を描く
 - ・県民が主役になり、地域から取り組む
 - ・変化を生み出し、成長する
- ②展望年次
 - ・私たちが子や孫が生きる 30 年先の 2050 年頃のめざす姿を描く
- ③県政上の位置づけ
 - ・県が進める政策の羅針盤として運用
- ④全県と地域
 - ・全県ビジョンと一体的に 9 つの地域ごとの地域ビジョンを策定

● 社会潮流の変化

- ・人口減少・超高齢化
- ・地球からの警鐘
- ・テクノロジーの進化
- ・世界の成長と一体化
- ・経済構造の変容
- ・価値観と行動の変化

● 兵庫の強み

- ・五国の個性
- ・進取の気風 ～ 開放的な地域性 ～
- ・培ってきた地力

● 策定の視点

- ・県民の想いに共通し、兵庫の強みでもある「開放性」をキーワードに描き取り組む

< 県民の想い >

- ・多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を
- ・自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を
- ・人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を
- ・未来を担う次代のために社会の「持続」を

● めざす姿

2050年の
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる
一人ひとりの可能性が広がる

包摂

×

挑戦

『躍動する兵庫』

躍動

5
つ
の
め
ざ
す
社
会

I 自分らしく生きられる社会

- ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ③ 世界へ広がる交流

II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

III 誰も取り残されない社会

- ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

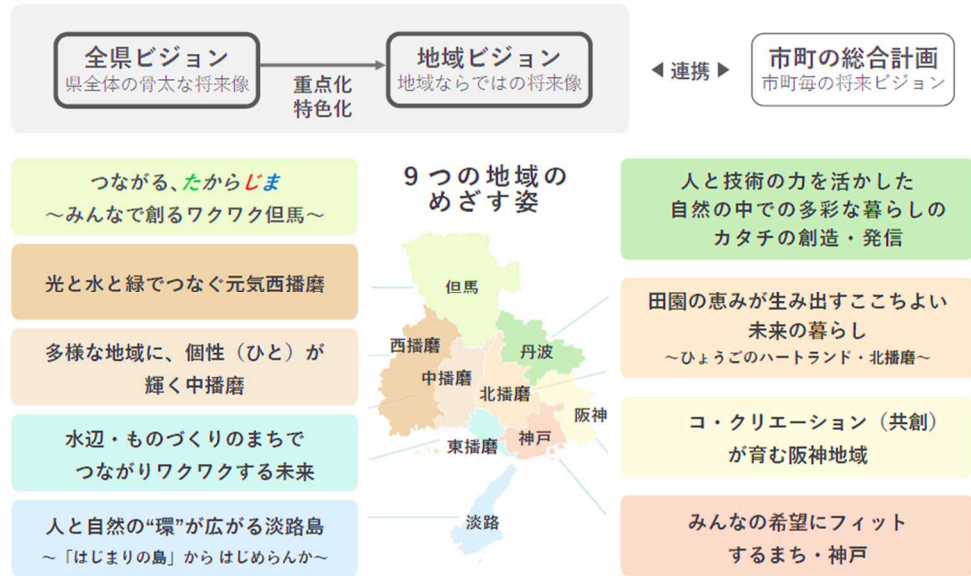
IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

V 生命の持続を先導する社会

- ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

● 地域ビジョン



(2) ビジョン実現に向けた分野計画の推進

地域創生戦略をはじめ、各分野計画をビジョンの実行プログラムと位置づけ、ビジョン実現に向けた県施策を推進。

(3) 県民主体の実践活動によるビジョンの推進

各地域で、ビジョン実現に資する活動を行うグループを「ビジョン推進チーム」として登録し、取組を支援。

【ビジョン推進チーム】

地域	チーム数	人数	活動内容
神戸	7	802	農村地域への宿泊体験ツアーを実施し、都市部と農村部の交流、関係人口の創出、地域での観光滞在による消費の促進を図る活動等
阪神南	28	322	救急救命講習、避難所を想定した学校キャンプ、シェイクアウト訓練などの実践により、地域で自然災害に備える体制を構築する活動等
阪神北	25	765	高齢者のデジタル・デバインド解消、孤立化防止を目的としたパソコン・スマホ講座を開催する活動等
東播磨	35	3,453	県立看護大学の学生が地域に入り、高齢者の孤立を防ぎ、元気になるプログラムを計画し、実施する活動等
北播磨	30	1,443	高校生が地元食材による新商品開発や料理レシピの提案、地元食材のPR活動等を行い、地産地消の推進と地域の魅力向上をめざす活動等
中播磨	29	900	子どもたちが、売れ残りや廃棄処分となる規格外のとうもろこしを材料に、商品開発・市場への流通・販売を実施、1次・2次・3次産業すべてを体験し学ぶ、子どもの生きる力を育むとともに地産地消を推進する活動等
西播磨	37	4,354	地域資源である千種川を活用した千種川リバーアスロンを開催し、地域の魅力向上、関係人口の創出などをめざす活動等
但馬	28	694	山陰海岸ジオパーク、日本遺産の諸寄、居組古道など地域の魅力をPRするとともに、交流人口の拡大を図る活動等

丹波	12	187	たんばへの移住情報の発信、家屋、生活物資・サービス、移動手手段等をシェアできる仕組みの構築、地域のしごと情報の提供などにより「ジョブ型移住」を推進する活動等
淡路	20	1,813	農業者がネットワークを構築し、環境への負荷を低減した農業生産の必要性や知識を発信し、オーガニックアイランドをめざす活動等

(4) ビジョンフォーラムの開催（対話の場づくりの推進）

多くの県民が集い、地域の未来を話し合う「対話の場」として、各地域で地域ビジョンフォーラムを開催。ビジョン推進チームの活動発表のほか、地域のキーパーソンを交えたワークショップ、パネルディスカッション等を実施。

【地域ビジョンフォーラム】

地域	日程(予定含む)	会場
神戸	3月4日(土)	兵庫津ミュージアム
阪神	12月18日(日)	関西学院大学
東播磨	12月17日(土)	加古川総合庁舎
北播磨	2月12日(日)	嬉野台生涯教育センター
中播磨	11月30日(水)	姫路市市民会館
西播磨	3月5日(日)	先端科学技術支援センター
但馬	3月11日(日)	豊岡市民プラザ
丹波	3月19日(日)	中心会場とオンラインによるハイブリッド開催
淡路	3月8日(水)	淡路文化会館

※ 阪神南北は合同開催

(5) 出前講座の実施（学びの場づくりの推進）

次代を担う若者が、自分や地域の未来を考え、新しい一歩を踏み出すきっかけになるよう、ビジョンを素材に地域について学ぶ「若者出前講座」を実施。あわせて、地域団体等の学びの場として出前講座（13回）を開催。

【若者出前講座】

	実施日	地域	学校等	参加者	人数
1	4月19日	神戸	灘高校	2,3年生	10
2	5月18日	阪神南	国際高等学校	2年生	23
3	5月27日	神戸	兵庫高校	創造科学科1年生	36
4	6月21日	神戸	灘高校	2年生	10
5	6月22日	淡路	洲本実業高校	3年生	10
6	6月28日	阪神南	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科1年生	40
7	7月4日	神戸	神戸大学	1,2年生	150
8	7月5日	阪神南	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科1年生	43
9	7月9日	淡路	これからの島のくらしをつくる学校	島内高校生	18
10	7月12日	阪神南	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科1年生	36
11	7月12日	神戸	甲南大学	文学部社会ネットワーク論	80
12	7月14日	県外	大阪公立大学	商学部公共経営学科松永ゼミ(県内学生等)	7

	実施日	地域	学校等	参加者	人数
13	7月14日	県外	大阪公立大学	商学部初年度ゼミナール(県内学生等)	17
14	7月16日	丹波	たんばユースチーム	高校生、大学生、専門学生、社会人等(概ね30歳以下)	32
15	8月3日	神戸	六甲アイランド高校	1年生	20
16	9月12日	神戸	神戸常盤大学	1,2年生(新長田サポータークラブ)	7
17	9月12日	阪神北	県立宝塚東高校	2年生	94
18	9月27日	神戸	兵庫高校	創造科学科1年生	36
19	10月5日	西播磨	相生高校	1年生(総合的探究時間)	200
20	10月10日	但馬	芸術文化観光専門職大学	2年生	40
21	10月10日	但馬	芸術文化観光専門職大学	2年生	40
22	10月27日	県外	大阪公立大学	商学部地域デザイン論(県内学生等)	120
23	10月31日	神戸	神戸大学	1,2年生	150
24	11月17日	但馬	県立村岡高等学校	1年生	42
25	11月22日	神戸	甲南大学	経済学部地域政策ワークショップⅡ	40
26	11月28日	但馬	芸術文化観光専門職大学	2年生	80
27	12月9日	神戸	西神看護専門学校	2年生	40
28	12月16日	阪神南	大手前大学	現代社会学部行政実務特修Ⅱ	8
29	12月19日	北播磨	北条高校	総合学習	30
30	12月19日	但馬	芸術文化観光専門職大学	2年生	80
31	12月19日	淡路	淡路高校	1年生	120
32	12月21日	淡路	洲本実業高校	2年生	120

1,779

(6) 情報発信

「ひょうごビジョン2050」ポータルサイトを開設し、地域のキーパーソンや先進的な活動を行っている団体等へのインタビュー動画など、多彩なコンテンツを掲載。

広く県民への浸透を促し、「見て、読んで、共感し、行動につなげる」ビジョンの推進を図る。



2 ビジョンのフォローアップ

(1) 兵庫のゆたかさ指標によるビジョンの点検評価

ビジョンの推進状況を、県民の実感で捉える「兵庫のゆたかさ指標」を用いて点検・評価するため、県民意識調査を実施。

同調査を基に、ビジョンで掲げた15のめざす姿に関連する48の調査項目によりビジョンの推進状況を把握。

○ 調査項目ごとに5段階で得られた回答(1. そう思う～5. そう思わない等)を

肯定的なものから5点～1点に点数化し、10点満点に換算

○ めざす姿ごとに平均点を算出（最高点10点、中間点6点、最低点2点）

【令和4年度調査結果】

5つのめざす社会	15のめざす姿	調査結果
自分らしく 生きられる社会	①自由になる働き方	5.71
	②居場所のある社会	6.20
	③世界へ広がる交流	5.99
新しいことに 挑戦できる社会	④みんなが学び続ける社会	5.60
	⑤わきあがる挑戦	5.10
	⑥わきたつ文化	5.84
誰も取り残されない社会	⑦みんなが生きやすい地域	5.43
	⑧安心して子育てできる社会	6.26
	⑨安心して長生きできる社会	6.74
自立した経済が 息づく社会	⑩循環する地域経済	5.13
	⑪進化する御食国	7.06
	⑫活動を支える確かな基盤	6.75
生命の持続を 先導する社会	⑬カーボンニュートラルな暮らし	7.03
	⑭分散して豊かに暮らす	6.60
	⑮社会課題の解決に貢献する産業	5.91

(2) 推進状況報告

県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例（平成18年4月1日施行）に基づき、ビジョンの実現に向けた令和4年度の推進状況を議会に報告（令和4年12月）

II 地域創生の推進

1 兵庫県地域創生戦略（2020～2024）の中間見直し

（1）基本方針

現行戦略の理念等の基本的な枠組みを維持しつつ、社会潮流や戦略の進捗状況等を踏まえ、計画期間の後期2か年で重点化する施策の方向性を明示。

【現行戦略の体系】

- ・基本理念 『五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる舞台、ふるさと兵庫をつくる』
- ・戦略目標 ① 地域の元気づくり（産業、交流、文化、まちづくり等）
② 社会増対策 ③ 自然増-子ども子育て対策 ④ 自然増-健康長寿対策
- ・分野横断対策 ① 若者対策 ② 女性対策 ③ 外国人対策 ④ 関係人口対策
- ・地域プロジェクト・モデル
（大阪湾バイエリア、地場産業の高付加価値化、次世代産業の振興、歴史・文化資源の活用、ワーケーション拡大、二地域居住の展開、御食国淡路の形成、多自然地域の生活圏維持）

（2）後期2か年の重点取組（共通基盤・3つの柱）

個別分野では、それぞれの現状や課題を踏まえた対応を図る一方、取組効果をさらに高めていくため、施策推進における共通の考え方や、特に注力して取り組む施策分野を重点取組方針として提示。この重点取組方針の下、多様なステークホルダーとの連携を促進し、人・モノ・投資・情報の流れを呼び込む取組を強力的に推進。

基 共 盤 通	Growth Driver ~成長を牽引する共通基盤~ ■SDGs ■公民連携 ■DX(デジタルトランスフォーメーション)		
	3 つ の 柱	Frontier ~ポストコロナ社会を先導する~ ■GXの加速 ■万博等を見据えた関西・瀬戸内交流圏の形成 ■新たな挑戦や多様なチカラによる地域課題解決	Return ~地方回帰の流れを捉える~ ■働き方改革先進県の実現 ■移住施策の強化 ■シビックプライドの醸成

(3) 検討経緯・スケジュール

県内市町との意見交換により、地域創生にかかる課題認識の共有や県の取組に対する要望の把握等を行うとともに、産官学金労言の有識者からなる地域創生戦略会議を開催し、戦略の実施状況や社会情勢の変化等を踏まえ、新たな施策の方向性等を協議。

6月	市町意見交換（全市町）
8月4日	第1回地域創生戦略会議 [検証と改定方向]
11月9日	第2回地域創生戦略会議 [中間見直しに係る重点取組]
12月28日	第3回地域創生戦略会議 [パブコメ案]
12月～1月	パブリックコメント
2月	県議会上程

2 戦略の実施状況報告

地域創生条例に基づき、地域創生戦略会議の意見を踏まえつつ、戦略の実施状況を9月定例県議会に報告。

<R3 戦略指標の達成状況>

戦略指標	達成状況
国を上回る一人当たり県内総生産の伸びを維持	[実質]国 102.5 < 県 106.8 [名目]国 107.3 < 県 109.3
住んでいる地域にこれからも住みたいと思う人の割合が前年を上回る	R2:75.9% ⇒ R3:75.9%
2024年までに日本人社会減ゼロ	目標：▲2,669人 ⇒ ▲6,220人 国内移動のみ (▲5,344人国際移動含む)
20歳代前半の日本人若者の県内定着率93%	目標：92.4% ⇒ 91.5%
5年間で25,000人の外国人の増加	目標：10,000人 ⇒ 4,126人
2024年まで合計特殊出生率1.41の維持	目標：1.41 ⇒ 1.36
2024年までに婚姻件数を27,000件に増加	目標：25,500件 ⇒ 20,938件
平均寿命と健康寿命の差を縮める	目標：男性1.40未満、女性3.13未満 ⇒ (R1：男性1.48、女性3.20)
運動を継続している人の割合を高める(75%)	目標：75.0% ⇒ 63.0%

3 地域創生広報の推進

UJI ターンの促進をはじめとした人口対策に資する取組を推進するため、本県の魅力や地域創生の取組について、若者・ファミリー層など、対象者に応じた効果的な広報を展開。

(1) メディアと連携した若年層向けイベント

本県ゆかりの著名人をゲストに迎え、県内小学生約100人とスポーツを通じて交流するとともに、SDGsの視点を取り入れたトークショーにおいて、食の大切さや地産地消等について学ぶイベントを開催。



(2) 兵庫県公式地域創生Instagram「love_hyogo」

転出者が多い若年層等に訴求するため、若者がメインユーザーである「Instagram」を活用し、地域情報を発信。現在5万人を超えるフォロワーに対し、兵庫の魅力を切り取った写真やコメントの投稿を促して、SNSの強みを活かした効果的な広報活動を展開。

- ・フォロワー数 50,810人 (R4.12.28時点)
- ・写真投稿数 約652,000件

(3) ひょうご地域創生通信

地域創生に係る取組やトピックスを分かりやすくまとめた冊子や子ども向けWEBコンテンツ等の各種広報媒体を複合的に活用した広報を展開 (R5.3月作成予定)。

(参考) 市町における地域創生の取組支援

県・市町の地域創生施策や連携施策を推進するため、国の「地方創生推進交付金」「地方創生拠点整備交付金」の効果的な活用や、県の「ひょうご地域創生交付金」による支援を実施。

<R4 地方創生推進交付金（国交付金）の交付状況>

- ・R4 地方創生推進交付金 24市町、54事業、899,997千円（交付決定額）
- ・R3 補正 地方創生拠点整備交付金 4市町、4事業、281,897千円（交付決定額）

<R4 ひょうご地域創生交付金（県版交付金）の交付状況>

- ・40市町・94事業、採択事業費：1,054,767千円（県費492,449千円）

Ⅲ エネルギー対策等の推進

1 水素社会の実現に向けた取組の推進

水素社会の実現に向けた取組の方向性等を示す「兵庫水素社会推進構想」（平成31年3月策定）のもと、2050年カーボンニュートラルへの貢献が期待される水素エネルギーの普及拡大を図る。

(1) 「兵庫水素社会推進構想」の概要

県としてめざすべき水素社会の姿を共有し、水素社会の実現に向けた取組の方向性を提示

[取組の方向性]

水素利活用の拡大、社会への普及を図る [短期的取組]

- ・ FC モビリティ（FCV、FC バス等）の普及促進
- ・ 燃料電池（家庭用、業務・産業用）の普及促進
- ・ 水素関連分野の技術開発や新たな事業創出等への支援

水素大量消費時代を見据えた対応を図る [中長期的取組]

- ・ 低コストな水素利用の実現
（水素受入基地の立地、水素ガスタービン発電の導入）
- ・ 再エネ等地域資源を活用したエネルギー自立型社会の実現

水素社会の実現

県としてめざす水素社会の姿（2050年頃）

環境に優しい脱炭素社会

- ・ CO₂排出量が低減し、温暖化対策に貢献
- ・ 水素の蓄エネ機能等を活用し、高効率なエネルギー利用が実現

県民の快適で安心な暮らしが守られている社会

- ・ 燃料電池等の活用により非常時にも安定的にエネルギー供給ができ、安心な暮らしが確保
- ・ エネルギーセキュリティにも寄与

経済の好循環が生まれ、産業や地域が活性化している社会

- ・ 企業集積や新規参入が促進され、地域経済が活性化

(2) 推進体制の整備

① ひょうご水素社会・脱炭素社会推進本部

<構成> 知事、副知事、各部長等

<取組内容> 県施策の企画・総合調整、庁内の情報共有・連携

② ひょうご水素社会推進会議

<構成> 企業、有識者、国、兵庫県、神戸市、姫路市

<取組内容> 水素利活用の拡大、水素関連産業の拡大、機運醸成 等

③ 水素社会実装をめざす兵庫県自治体連絡協議会

<構成> 兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、洲本市、加古川市、高砂市、南あわじ市、淡路市

<取組内容> 水素基地の誘致や水素利活用の推進 等

④ 播磨臨海地域カーボンニュートラル推進協議会（土木部所管）

<構成> 企業、学識者、国、兵庫県、地元市、地元経済団体等

<取組内容> 播磨臨海地域カーボンニュートラルレポート形成計画の策定

(3) 主な取組内容

① カーボンニュートラルレポートの形成に向けた検討（土木部所管）

姫路港を含む播磨臨海地域において、カーボンニュートラルレポートの実現を目指し、産学官で構成する播磨臨海地域 CNP 推進協議会により、形成計画の策定に向けた検討を推進

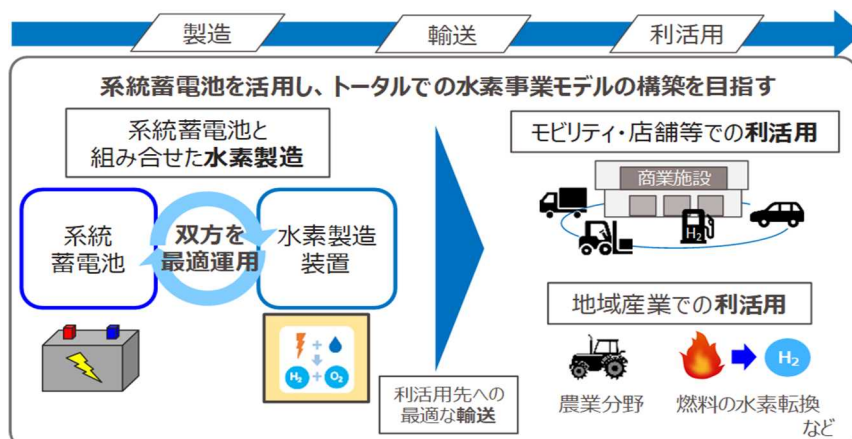
② 水素を活用したエネルギーの地産地消モデルの確立に向けた取組

今後、再エネの拡大により、再エネの出力制御の頻度増が見込まれることから、当該余剰電力を活用して水素を製造・貯蔵・活用する調査を、再エネ比率の高い淡路島をフィールドに実施（NEDO 事業：兵庫県淡路地域における系統蓄電池と組合わせた水素製造および水素利活用に関する調査）

<実施体制> 代表事業者：関西電力㈱、共同事業者：岩谷産業㈱、兵庫県

<内容> ・再エネ余剰電力を活用した水電解装置による水素製造や貯蔵・輸送を検討

・製造した水素の利活用調査・検討



③ 普及啓発イベントの展開

水素社会の実現に向けた県民理解の促進や機運醸成を図るため、水素エネルギーについて周知・啓発するイベントを開催

- ＜内容＞
- ・水素の可能性や関連プロジェクトの紹介
 - ・水素体験コーナーの設置
(水を電気分解して水素を取り出す体験等)
 - ・県庁見学の小学生に対する説明

[R4実績] イベントでの啓発ブースの出展(約1600名来場)

シンポジウムの開催(1/23予定、募集定員350名)



Himeji SDGs EXPO への出展

④ 燃料電池モビリティの導入促進(環境部所管)

- ・水素ステーションの設置に要する経費を補助(上限5,000万円)
- ・燃料電池自動車(FCV)の車両購入費を補助(市町補助額の1/2・上限100万円)
- ・燃料電池バスの車両購入費を補助(1,000万円(定額))
- ・燃料電池タクシーの車両購入費を補助(50万円(定額))

⑤ 成長産業育成プラットフォームの整備(産業労働部所管)

県内企業が大学・研究機関等と連携して水素等次世代成長産業を育成するプラットフォームを構築し、中小企業の参入等を促進する。

- ・オープンイノベーションを促進するため、セミナーやビジネスマッチング等を実施
- ・新製品の試作開発に係る経費を支援
- ・技術育成サポート、企業内体制整備や販路拡大等を支援

＜参考：民間企業の動向＞

- R4年8月、経済産業省諮問機関の会議において、関西電力株が政策支援の獲得を前提に液化水素サプライチェーンの受入拠点を姫路エリアに形成し、水素発電に取り組む意向を表明。
- R4年12月、川崎重工業と関西電力株が2030年の液化水素サプライチェーンの構築に向けた海上輸送等に関する協業の覚書を締結し、液化水素の海上輸送や海外での水素の製造・液化・貯蔵、姫路エリアでの受入に関する調査・検討を行うことを表明。

2 海洋エネルギー資源開発の推進

国内の海洋エネルギー資源として期待の高い表層型メタンハイドレートの開発を促進するため、「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」と連携した国への働きかけや、県民への広報活動を展開する。

[取組内容]

(1) 啓発イベントの実施

メタンハイドレートに対する県民の理解促進に向け、啓発イベントを開催

<時期> 10～11月頃

<場所> 但馬地域

<内容> ・メタンハイドレートの開発状況等の紹介
・専門家によるメタンハイドレートの燃焼実験 等

(2) 「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」の取組

日本海側の12府県で構成する「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」において、国への開発の働きかけやフォーラムを開催

① 国（経済産業省）への要望（R4.9）

- ・令和5年度予算（調査費等）の拡充、研究開発の着実な実施
- ・日本海側における広域ガスパイプライン整備の推進 等

② 「日本海海洋資源フォーラム」の開催（R4：秋田県で開催、R5：富山県で開催予定）

<参考：国の取組>

国の研究開発は、太平洋側に多く存在する「砂層型メタンハイドレート」を中心に行われてきたが、日本海側で存在が確認された「表層型メタンハイドレート」についても、平成25年度から資源量や回収技術に係る調査研究が進んでいる。

<商業化に向けたスケジュール>

年度	内容
H25～H27	・広域地質調査（ガスチムニー構造 ^{※1} 探索） ・地質サンプル採取
H28～R1	・採掘・分離・揚収に関する有望技術を特定
R2～R5頃	・特定した有望技術による生産システムの研究開発 ・海洋調査 ^{※2} の実施（ <u>但馬沖</u> 、上越沖、庄内沖）
R6～R8頃	・海洋産出試験の実施
R9頃まで	・民間企業が主導する商業化開始

※1 ガスチムニー構造：メタンハイドレートが存在する可能性のある特異的な地質構造

※2 海洋調査：メタンハイドレートの賦存量、海底状況（採掘機械の設置や機械掘削に耐え得る地盤強度を有するか等）、海底環境（水質・水温・プランクトン量等）に関する調査

3 発電所周辺地域の振興

電源三法（電源開発促進税法、特別会計に関する法律、発電用施設周辺地域整備法）に基づき、国の電源立地地域対策交付金を財源に、公共用施設整備などの住民の利便性向上のための事業や地域の活性化を支援

(1) 水力発電施設周辺地域交付金

水力発電所が立地している6市町に対して、道路、消防施設等のインフラ整備やソフト施策実施のための補助金を交付し、発電所周辺地域の振興を図る。

対象市町	対象発電所	主な事業（R4）
神河町	大河内、市川、南小田第一、南小田第二	町道上岩宮野線舗装修繕事業 等
宍粟市	原、野尻、草木、上野、安積、神野	市道横住線路面修繕工事
豊岡市	阿瀬、石井、岩中	市道道場浅倉線路面補修事業
香美町	矢田川	しおかぜ香苑遊具整備事業
養父市	横行	市道横行線舗装整備事業
朝来市	奥多々良木	市道伊由市場小西線道路改良事業 等

○交付対象：市町内水力発電所の評価出力が、合計1,000kW以上で、かつ、基準発電電力量の合計が500万kWh以上のもの

※火力発電所については、平成15年度の制度改正により、その時点から交付対象外

○交付期間：運転開始後15年経過以降から最大50年間

IV 総合的な水資源対策等の推進

1 ひょうご水ビジョンの展開

平成27年度に改定した「ひょうご水ビジョン」のもと、水と共生する県民生活の構築を目指す。

(1) 水ビジョンの目標（めざすべき姿）：計画目標年次：2030年度

「水、さと、まちの共生 ～水を知り、水を活かし、水に備える～」

(2) 5つの基本方針による施策の展開

基本方針	取組内容
1 おいしい水をつくる	・森林等の適正管理と保全による水源かん養、・安定した水道供給の確保、・兵庫のおいしい「食」生活の推進
2 水をもっと上手に使う	・雨水、再生水、井水の利用推進、・節水生活の普及、 ・水のエネルギー利用の推進
3 水へのおそれ（畏れ、恐れ）を知り備える	・流域全体で取り組む治水対策等の推進、・防災教育と情報提供の推進、・渇水への備えの強化
4 水の豊かさを守る、つくる	・水辺環境の保全と創造、・生態系の保全と回復、・水循環全体の周知
5 水の文化、伝統を育む	・水文化の継承・創造、・伝統産業の振興、・水がつなぐ交流の推進

(3) 令和4年度の取組

① 水の作文コンクールの実施

広く水に対する関心を高め理解を深めることを目的に、国土交通省と共催で次代を担う中学生を対象とした作文コンクールを実施する。

[R4応募実績] 193編

[R4表彰(県)] 最優秀賞1編、優秀賞2編、入選10編

※国入選1編：(作品名) おいしさの秘密

② 水の日広報イベントの開催

水の日(8/1)、水の週間(8/1～7)が設定された8月前後に、水の重要性について理解と関心を深めるため、利き水やパネル展示等を内容とする水の日広報イベントを開催する。

[R4]：8/6 稲美町



水の日広報イベント(稲美町)

2 水資源対策の推進

(1) 広域的な水資源調整

安定した水資源の確保や良質な水源の保全など、琵琶湖・淀川水系の広域的な水資源調整を行う。

(2) 渇水対策

渇水により県民生活等に重大な被害が発生する恐れがある場合には「兵庫県渇水対策本部」を設置するなど、対策等を講ずるための連絡調整を図る。

個性を生かす地域づくりと 万博開催に向けた取組について

令和5年1月16日

企 画 部
地 域 振 興 課
万 博 推 進 課

< 目 次 >

1 個性を生かす地域づくりについて

- (1) 移住・定住施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 持続可能な多自然地域づくりの推進・・・・・・・・・・ 4
- (3) 多様な地域資源の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 公民連携の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2 万博開催に向けた取組について

- (1) 機運醸成に向けた取組の展開・・・・・・・・・・・・ 13
- (2) 兵庫県域の大阪湾ベイエリアの活性化・・・・・・・・ 14

1 個性を生かす地域づくりについて

(1) 移住・定住施策の推進

ア カムバックひょうご促進事業の実施

① カムバックひょうごセンター（東京（ひょうご移住プラザ）、大阪サテライト、神戸）

- ・ 移住情報発信と UJI ターン促進拠点として、カムバックひょうごセンターを運営
- ・ R3.4.1 から、東京圏の UJI ターン窓口「ひょうご移住プラザ」を拡充し、移住・就労のワンストップ相談を実施。また西日本の UJI ターン窓口として「大阪サテライト」を開設
- ・ R4.4.1 に「大阪サテライト」の相談日を拡大（月 1 回→週 1 回）



東京・ひょうご移住プラザ

【業務内容】

- ・ 兵庫県への移住相談、市町及び地域 NPO 等への取次
- ・ 出張相談の企画・実施（市町との合同相談会や移住イベントの開催、他府県との合同移住セミナーや大学等での出張相談の実施）
- ・ 広報業務（市町等が作成する移住に関するパンフレット等の配布、カムバックひょうごセンターの PR、開催イベントの告知等）

【実施体制】

- ・ 県・市町の移住支援の取組状況や全国的な移住動向などの情報共有を図り、連携を促進する連絡会議を開催（年 2 回）

<カムバックひょうごセンターの概要>

	東京	神戸	大阪
場 所	東京都千代田区 有楽町 2-10-1 東京交通会館 8 階 (R3.4 に移転)	兵庫県地域振興課内 神戸市中央区 下山手通 5-10-1 兵庫県庁 2 号館 3 階	大阪府中央区 本町橋 2-31 シティプラザ大阪 1 階
開 設	平成 28 年 1 月 19 日	平成 29 年 2 月 22 日	令和 3 年 4 月 1 日
開所日時	火～日 10:00～18:00	月～金 9:00～17:00	金 10:00～18:00 ※第 3 土 市町ブース設置
人員配置	相談員 1 名	相談員 2 名	相談員 1 名

<R4 イベント出展・開催（主なもの）>

区 分	イベント例
センター独自イベント	・ひょうご移住セミナー（10 月以降東京・大阪・オンラインで毎月実施） ・ワワイクァヤ移住トーク&相談会（東京・8 月開催）
市町連携イベント	・兵庫県播磨地域合同移住相談会（県・市町共催）（大阪） ・兵庫県・養父市出張相談会 in 大阪（養父市・県共催、12 月）
イベント出展	・おいでや！田舎暮らしフェア（大阪・ふるさと回帰支援センター主催） ・ふるさと回帰フェア（東京・ふるさと回帰支援センター主催）



ワワイクァヤ移住トーク&相談会
(R4.8.6)



ひょうご移住セミナー in 大阪
(R4.10.29)



ふるさと回帰フェア
(R4.9.24, 25)

② ひょうご e-県民制度の推進 (H31.1～)

兵庫県にゆかりや関心のある方に、兵庫の暮らしや仕事の魅力、県・市町の情報を一体的に発信することにより、交流人口・関係人口の拡大、将来の移住を推進

＜登録者数＞ 75,135人 (R4.11月末時点)

＜特徴＞ ・県・市町のイベント、移住・就職・住まい・観光関係情報をアプリやメルマガで配信



・R4.12に、若者、子育て世代をターゲットに、同世代の県民の参画を得て、アプリのコンテンツをリニューアル

①大学生、移住者、子育てファミリー、インスタグラマー等による暮らしや仕事の魅力、食・観光等のブログを毎日配信

②移住イベントへの参加や関係人口創出に資する e-県民ポイント制度の導入

・県公式オンラインショップ「ひょうご市場 (H5MANIA)」で兵庫五国の上質な県産品を販売

※ コロナ禍の影響を受けた生産者を支援や e-県民制度の登録促進のため、送料無料や割引クーポンの配布などの販売促進キャンペーンを実施

神戸大学広告研究会監修の
広報用アプリイメージ

③ 移住体験バスツアーの実施

兵庫県への移住を検討している方を対象に、県内各地の仕事や暮らしの魅力を体感してもらうバスツアーを実施

＜R4 実施内容＞

- ・「ひょうご e-県民モニターバスツアー (10/1～2 赤穂・たつの)」19名参加
- ・「ひょうご里山体験！多自然地域活動バスツアー (10/1～2 姫路・佐用)」19名参加
- ・「ひょうご五国の魅力体験バスツアー(11/28～30 神戸・豊岡・朝来・新温泉・香美)」9名参加



(2) 持続可能な多自然地域づくりの推進

ア 地域再生大作戦 (R3 廃止、採択済み地区は事業終期まで継続)

過疎化、高齢化等の進行により地域の活力が失われつつある多自然地域において、小規模集落の自主的・主体的な取組による賑わいづくりや持続可能な地域づくりを応援

① 地域の発想により企画された取組への支援

(i) 「がんばる地域」交流・自立応援事業

地域が自主的に企画・提案する地域活性化活動(ソフト)、活動交流拠点の整備・改修(ハード)を支援

＜R4 取組数＞ 朝来市生野 他 9 地区



旧生野銀山職員住宅を活用した体験プログラムづくり (朝来市生野)

(ii) 戦略的移住推進事業

都市部からの若手移住者や二地域居住者を戦略的に受け入れる地域計画の策定や移住コーディネーターの雇用、住環境整備を支援

＜R4 取組数＞ 丹波市佐治 他 5 地区

② 地域を取組を支える基盤づくり

(i) 関係人口活用モデル事業

人手不足の集落等に対して、都市部からボランティア等を派遣（関係人口登録者数：565 人（R4. 11 月末時点）

＜R4 取組数＞ 豊岡市西気 他 10 地区



大根掘り作業の応援（豊岡市西気）

(ii) 県版地域おこし協力隊の設置

国制度の対象とならない地域、人材を対象とした地域再生協働員を設置

＜実績＞ 26 名（R4. 12 月末時点。延べ 49 名） ※国版隊員数 131 名

(iii) 五国の元気づくり交流拠点の運営支援

小規模集落等で生産した少量多品種の農産物を都市消費者に販売、交流の促進

(iv) 大学と地域の連携推進

地域と大学等が連携し、地域活性化に資する活動を支援

＜R4 取組数＞ 甲南女子大学国際学部（多可町）
他 22 地区



放置竹林対策として食用メンマ「島ちく」を開発（洲本市安平）

③ 特定地域づくり事業協同組合の設立（マルチワーク）

複数の仕事を組み合わせ、年間を通じて安定的な雇用環境を創出し、移住を促進する組合の設立を支援

＜R4. 4 県内初認定＞

香美町地域づくり事業協同組合（農業とスキー場等）

淡路市地域づくり事業協同組合（水産加工業と農業等）



香美町地域づくり事業協同組合認定証交付式（R4. 5. 27）

イ 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの検討（R5～）

① 見直しのプロセス

人口減少や高齢化の更なる進行により、都市部を含めた多自然地域において、小規模集落の増加や地域運営の担い手の枯渇など、集落単位の維持・活性化対策が困難となっている。令和 3 年度の地域再生大作戦未実施集落調査の結果を踏まえ、見直しの方向性について、令和 4 年 5 月から市町参画のもと、県内外の専門家を交えて計 4 回の検討会を実施

② 見直しの方向性

支援対象について、都市部を含めた多自然地域の全集落に拡大し、旧小学校区等を単位とする住民主体の広域の地域運営体制を構築

推進にあたっては、市町による地域伴走体制の確保、県による市町への後方支援を基本とした県と市町の重層的な支援体制のもと、持続可能な生活圏形成を展開

【新たな市町支援策の検討】

(i) 「持続可能な生活圏」形成支援事業

移動支援等による生活機能の確保や農地等の地域資源を広域的に保全する「守りの対策」、本格的なビジネス展開等により収入・雇用を確保する「攻めの対策」など、市町の総合的・戦略的な取組を支援

(ii) 市町地域伴走支援体制整備事業（対象：過疎地域を有する 16 市町）

地域おこし協力隊 OB 等の人材活用による地域伴走支援体制の立ち上げを支援

<地域再生大作戦との比較>

項目	地域再生大作戦(H20～R4)	持続可能な多自然地域づくりプロジェクト(R5～)
目的	小規模集落の維持・活性化に向けたモデルづくり	多自然地域の持続可能な生活圏の形成に向けた地域づくり
対象地域	多自然地域の小規模集落※ (約 800 集落)※50 戸以下、高齢化率 40%以上	多自然地域の全集落（約 3,000 集落）
対象市町	都市部を除く 29 市町 (神戸、阪神北、東播磨は対象外)	都市部を含む 37 市町 (尼崎市、芦屋市、伊丹市、播磨町は該当なし)
事業主体	県	県、市町（重層支援体制）
役割分担	県	集落への直接支援
	市町	市町への広域的、専門的な後方支援 専門家派遣、人材養成、シクタク、関係人口マッチング等
	市町	地域への総合的施策の展開 コミュニティ施策をベースとした地域への伴走支援

(3) 多様な地域資源の活用

ア 日本遺産等の広域的な活用推進

全国最多 9 件の日本遺産が認定されている本県の強みを活かすため、県、関係 23 市町、関係団体で構成する県内日本遺産ネットワーク会議を運営（R4.6 月）

構成団体間の相互交流や課題の共有、広域的な取組を推進し、県内日本遺産の更なる活用や、各地域の主体的・継続的な活動を支援

① 兵庫の日本遺産展の開催

集客力の期待できる都市部において、「ひょうご五国の日本遺産フェア in 神戸」（R4.7.9・10、さんちか夢広場）を実施して 11,000 人の来場者を集めた。

日本遺産認定の関係 23 市町において、各市町で実施されるイベント等にあわせてパネル展などの PR を全県的に展開

② 兵庫津ミュージアムを活かした地域資源の魅力発信

地域資源の情報発信拠点として活用する兵庫津ミュージアムにおいて、県内 9 つの日本遺産への認知度向上のため、ひょうご日本遺産フォーラムを開催（R5.2 月）するとともに、パネルや啓発資材による PR を実施

ミュージアムのグランドオープンを記念して、本県の成り立ちや歩み、個性豊かな五国の地域資源の理解を深める五国フォーラムを R4.5 月に阪神、7 月に丹波、9 月に播磨で開催（但馬は R3.11 月、淡路は R4.3 月に開催）

イ 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組推進

「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録の実現に向け、兵庫県及び徳島県等の 41 団体で構成する協議会において、学術調査及び普及啓発を推進

① 学術調査、海外類似資産との連携

渦潮の普遍的価値に関する学術的裏付けを行うため、兵庫県が自然分野、徳島県が文化分野の観点から実施。令和 4 年度は、形成過程にかかる地形・地質調査等を実施するなど、学術的とりまとめを推進



鳴門海峡の渦潮

国際共同申請を視野に、ノルウェー・サルトラウメン海峡について、海底地形の分析による渦潮発生メカニズムの比較研究を進めるほか、スコットランド・コリーヴレックン海峡等について、文献調査を踏まえた研究機関とのネットワークづくり

② 機運の醸成

2025 年の大阪・関西万博を視野に、機運の醸成を図るため、島内外の参加者による海岸クリーンアップ活動への支援のほか、渦潮を守る大切さを伝える啓発資材の提供、ホームページや渦潮ラッピングバスの運行など各種媒体での広報等、普及啓発を推進

ウ 兵庫津ミュージアムを拠点とした地域資源の魅力発信

昨年 11 月にグランドオープンした兵庫津ミュージアムにおいて、地域ゆかりの人材や日本遺産等を活かした、本県ならではの企画展・テーマ展や、地域団体・大学・アーティスト等の参画による、博物館の非日常空間を活かした“ユニークベニューイベント”の開催等を通じて、本県地域資源の魅力を発信

次代を担う子どもたちをはじめ、多様な層に五国の魅力を伝えるとともに、大阪・関西万博を見据え、フィールドパビリオンをはじめとする県内各地の魅力的なスポットへ、国内外の多くの人々を誘う取組を展開

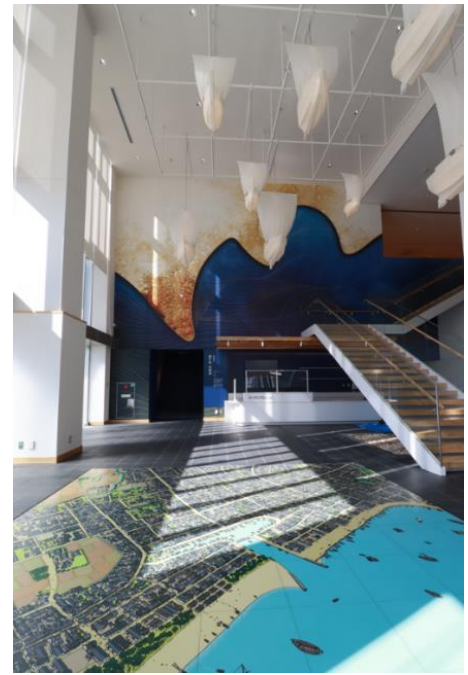
<施設の概要>

[所在地] 神戸市兵庫区中之島 2 丁目

区分	復元施設：初代県庁館	博物館施設：ひょうごはじまり館
開館時期	令和 3 年 11 月 3 日	令和 4 年 11 月 23 日
規模等	鉄骨造+木造約 498 m ² (平屋建)	鉄筋コンクリート造 /4,029 m ² (地上 4 階建)
主な建物 又は諸室	県庁舎、取次役所、旧同心屋敷、 旧船見番小屋、長屋門、仮牢、番小屋	1 階：エントランス、常設展示室、映像シアター 2 階：第 1・2 企画展示室、ライブライ 3 階：研修室、収蔵庫、事務室 4 階：機械室



ひょうごはじまり館開館記念式典



1階・エントランス

(ア) ミュージアムの状況

① 入館者実績

(i) 初代県庁館プレオープン期間 (R3. 11. 3～R4. 11. 22)

55,788人 (171人/日)

(ii) ひょうごはじまり館開館後 (R4. 11. 23～R4. 12. 18)

14,883人 (647人/日)

② ひょうごはじまり館グランドオープン記念事業

(i) 開館記念特別展

「ドキュメント 1868ーひょうごはじまりのときー」(R4. 11. 23～R5. 1. 15)

兵庫県が設置された 1868 年の時代背景や現代とのつながりについて古写真や
絵画など親しみやすい資料で紹介

(ii) 他館連携イベント

「”ひょうご五国”歴史文化キャラバン」(R5. 2. 4～R5. 3. 5)

県立歴史博物館による巡回展。兵庫・神戸にちなんだ歴史資料の公開展示を実施

(iii) 開館記念イベント

「やなぎみわ監修・踊り念仏ワークショップイベント」(R4. 11. 27)

地元出身の世界的アーティストやなぎ氏監修のもと、時宗開祖・一遍上人の入寂の地
である兵庫津において、地元住民や大学生・高校生などの若手参画のもとで踊り
念仏を現代版にアレンジした体験型イベントを開催

③ 令和5年 テーマ展・企画展開催予定（決定分のみ掲載）

	種別	名称	内容	期間
1	春期 テーマ展	日本遺産 銀の 馬車道 鉱石の 道展（仮称）	兵庫県の近代化を象徴する生野鉱山など南但馬地域の鉱山やこの地域と播磨をつないだ生野鉱山寮馬車道（通称銀の馬車道）の歴史・文化を紹介	R5. 4. 22 ～6. 25
2	夏季 企画展	2023HYOGO LEGO MUSEUM（仮称）	知育玩具であるレゴとコラボレーションした展覧会。レゴがもたらす子どもたちのクリエイティビティ体験を通じた楽しさ、喜びを創出。	R5. 7 ～10
3	秋期 企画展	ひょうごの技 （仮称）	伝統工芸品の「技」にスポットをあてた展示。国・県指定の伝統工芸品のほか県内に伝わる伝統工芸品とそれを生み出す職人と技を紹介。	R5. 10 ～12

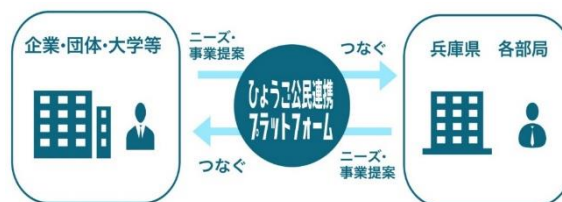
※ テーマ展（企画：県）・企画展（企画：指定管理者）は毎年度各2回開催
〔冬期テーマ展については内容調整中〕

（４）公民連携の推進

少子高齢化や人口減少、コロナ対応など、複雑化する社会課題を解決するため、行政と企業・大学・団体等との幅広い連携やネットワークによる取組を推進

【ひょうご公民連携プラットフォームの設置】

公民連携のマッチングを更に促進するため、一元的な窓口となるプラットフォームを設置（R3. 10）し、企業等のニーズや事業提案を把握し、部局とのきめ細やかなマッチングを実施




また、連携先の企業等の掘り起こしや、事業の質的充実により、県民サービスの向上や地域の活性化を図る

ア 包括連携協定の締結（令和4年度締結分） 協定締結企業総数：19社

企業名	締結日	主な連携事項
⑩西宮ストークス（株）ストークス 	令和4年8月31日	スポーツを通じた子ども達の成長の見守りやスポーツに親しむ環境づくり等の「スポーツの振興」、コウノトリの英名ストークスにちなんだ水辺環境を中心とした「環境保全活動」など
⑪メットライフ生命保険（株） 	令和4年10月5日	外資系企業として培った多様な人材が活躍できる組織づくりのノウハウを活かした「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」、高校生、社会人、外国人留学生など幅広い層に向けての「金融リテラシー教育」など
⑫損害保険ジャパン（株） 	令和4年12月5日	持続可能な発展の実現に向けてのSDGsの取組の裾野拡大による「SDGsの推進」、体験型ワークショップによる防災教育等による阪神・淡路大震災30年を見据えた「防災・減災対策の推進」など
⑬（株）アシックス 	令和4年12月20日	スポーツの参加機会の創出や運動能力向上への支援、パラスポーツの普及啓発等の「スポーツの振興」、多世代にわたる健康づくり事業の展開や子どもの自発性や創造力を育む運動機会の創出等の「健康増進」など

イ 連携事業の実施（主なもの）

連携事業	事業内容
兵庫県物産展 	日本生命保険（相）の協力を得て、東京の丸の内ビルでの「兵庫物産展」を7月11日に開催。会場には、いかなごのくぎ煮や丹波の黒豆を使った商品など、兵庫県に所縁のある社員がおススメする、ひょうご五国の美味しい物産品等が30品目並び、兵庫県の魅力を首都圏にアピールした。

<p>バスケットボールの寄贈事業</p> 	<p>学校のスポーツ現場が抱える用品不足への対応の一環として、兵庫県と西宮ストークス、パートナー企業の3者が連携してバスケットボール等の用品を寄贈する事業スキームを開始。8月31日には、第一生命保険(株)がパートナー企業の第一号となって、西宮市内の県立高校8校へバスケットボールの寄贈が行われた。</p>
<p>HYOGO アサ@プロジェクト</p> 	<p>パートナー企業と連携して、朝食の欠食問題や早寝早起き・良質な睡眠などの生活習慣の改善への気づきや素敵な朝の体験づくりなどに取り組む「HYOGO アサ@プロジェクト」を展開。10月12日に、プロジェクトのキックオフイベントとして、県立兵庫高校にて、「素敵な朝がやってくるセミナー」を開催した。</p>
<p>好印象メイクセミナー</p> 	<p>花王(株)と連携して、未来に向けて頑張る就活生を応援する取組を企画。10月21日に、兵庫県立大学の女子就活生向けの「好印象メイクセミナー」を開催。メイクデモンストレーション、セルフケアの方法など、メイクの実践を交えて個人の魅力をさらに引き出す講座を実施した。</p>
<p>ワンポイント虫除け講座</p> 	<p>「西播磨山城復活プロジェクト」におけるモニターツアーが10月30日に開催され、ツアー参加者を対象に、アース製薬(株)の薬剤師による「ワンポイント虫除け講座」を開催。会場には、虫ケアステーションが設置され、虫除け剤の正しい使い方の実演を交えながら虫ケア啓発を呼びかけた。</p>
<p>SDGs 公民共創プロジェクト</p> 	<p>カーボンニュートラル社会の実現や次代の人づくりなどSDGsにかかる10の重点テーマのもと、企業や団体との共創による事業展開を目指す「SDGs 公民共創プロジェクト」。11月24日に、兵庫県と7つの県内経済団体の代表者が集まり、キックオフミーティングを開催して意見交換を行い、プロジェクトを始動させた。</p>

ウ ひょうご TECH イノベーションプロジェクトの実施

自治体が抱える地域課題と企業が有する技術とをマッチングさせ、課題解決をめざす「ひょうご TECH イノベーションプロジェクト」を展開

今年度は、鳥獣被害対策など6つの地域課題を選定し、協同実証事業を実施



新温泉町立夢が丘中学校には
獣害忌避装置を設置

<協働実証を行う6つの課題>

事業者 [市町等]	イーメーカーナ(株) [新温泉町]	(株)時空テクノロジーズ [三木市]	Exest(株) [丹波篠山市]	小泉製麻(株) [神戸市]	朝日航洋(株) [朝来市]	(株)Spectee [県警本部]
課題	学校敷地内での鳥獣被害対策	聴覚障がい者のコミュニケーション支援	人口減少地域における地域活動人材の維持	道路や公園における除間雑草の除草	通学路の交通安全対策	SNS上の犯罪の未然防止
解決策	光と音の技術による獣害忌避装置	AI技術を活用した文字起こしツール	特産物のシェアオーナーによる関係構築	泡状熱湯技術による除草	車の走行データから危険箇所の可視化	AI技術を活用したキーワード抽出

<中間報告会【令和4年11月10日】>



起業プラザひょうごにて、マッチメイクした6地域で実施している協働実証事業について、各企業や地域の代表者が一堂に会し、事業の達成状況や今後の展望について発表

発表後、知事と3企業の代表者で公民連携の在り方について、トークセッションを実施

エ 企業版ふるさと納税の利活用促進

民間資金の呼び込みにより地方創生を活性化するとともに、企業とのパートナーシップの構築としても有用な企業版ふるさと納税制度について、令和2年度から新たに加わった「人材派遣型」の活用も含め、企業連携に親和性の高いプロジェクトの発信等により利活用を促進する。

<三井住友銀行からの寄附にかかる共同記者会見【令和4年9月20日】>



(株)三井住友銀行から、企業版ふるさと納税制度を活用し、県実績で過去最大となる3.5億円の寄附の申し出があり、兵庫県公館大会議室において、共同記者会見を開催。

社会的課題の解決と持続可能な社会づくりの両立を加速させるため、カーボンニュートラルシティの実現、中小企業を中心とした県内企業の脱炭素化支援を柱とする寄付金活用の方向性を紹介するとともに、三井住友銀行への知事感謝状贈呈式を実施

2 万博開催に向けた取組について

(1) 機運醸成に向けた取組の展開

ア ひょうごフィールドパビリオンの展開

① SDGs 体験型地域プログラムの募集

6月17日～12月16日までを強化募集期間として積極的な応募促進を図った結果、強化募集期間内には100件以上が応募（応募は万博開始まで継続受付）

② SDGs 体験型地域プログラムの認定

応募のあったプログラムについて、ヒアリングや現地確認等の上、有識者の審議を経て、『SDGs 体験型地域プログラム』として認定

なお、強化募集期間に応募のあったプログラムについては、2月頃に第1次認定予定

③ プログラムの魅力向上・プロモーション（R5～）

認定したプログラムについて、誘客プログラムとしての魅力向上に取り組むとともに、国内外への積極的なプロモーションを展開

なお、国際交流行事や地域イベントなどで積極的に活用

イ 万博会場「兵庫棟（仮称）」および県立美術館ギャラリー棟への出展

ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、兵庫の有する魅力を発信する万博会場関西パビリオン「兵庫棟（仮称）」と県内拠点である県立美術館ギャラリーについて、「展示基本計画策定支援業務」の公募型プロポーザルを令和4年8月に実施

今年度内に展示基本計画を策定し、令和5年度以降、展示設計業務等に着手予定

また、万博開催期間中に国際博覧会協会が実施するテーマウィークプロジェクトに連動したシンクロイベントや、市町を含む姉妹都市交流等の展開に向けた企画を検討



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs



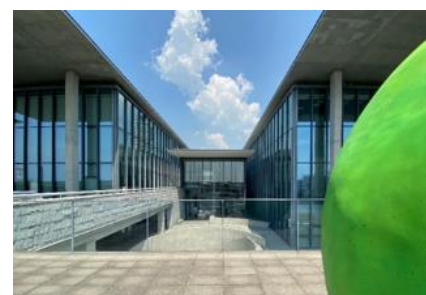
田植え体験現場での募集開始記者会見



万博会場(イメージ)



関西パビリオン(イメージ)



県立美術館

ウ 機運醸成に向けた取組み

① 推進体制

令和4年度内に、県の万博関連事業をとりまとめたアクションプランを公表するとともに、県内市町、関係団体等が参画する全県的な推進協議会（仮称）を設置し、県実施事業の情報共有、全県での機運醸成事業の実施など関係者と方向性を共有、連携しながら、兵庫全体で万博に向けた取組を協働して推進

② 機運醸成イベントの実施

万博開催1000日前を記念して、『「大阪・関西万博」1000日前記念シンポジウム』を開催

【概要】

日時：令和4年7月18日（月）

場所：兵庫県立美術館ギャラリー棟1階
ミュージアムホール・アトリエ1

内容：1) 知事基調講演：ひょうごフィールドパビリオンの展開

～万博が生み出す活力を取り込むための兵庫の戦略～

2) パネルディスカッション：フィールドパビリオンの展開による地域活性化

3) 空飛ぶクルマの実機展示

トークセッション：空飛ぶクルマにどんな夢を乗せますか？



空飛ぶ車と子どもたちの夢

【500日前イベントの検討】

万博開催500日前の節目（令和5年11月30日前後）に、ひょうごフィールドパビリオンの展開をはじめとした兵庫の取組のPR、未来社会を実感していただく展示など、万博を身近に感じてもらえるためのイベントを開催予定

（2）兵庫県域の大阪湾ベイエリアの活性化

ア 兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針の策定

2025大阪・関西万博を契機に、人・モノ・投資の呼び込みを促進するため、兵庫県域の大阪湾ベイエリアの将来像や事業展開の方向性を示す「兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針（以下「基本方針」）」を令和4年度中に策定

あわせて、ベイエリア活性化を促進するプロジェクトを検討し、先行できるものは令和5年度から実施

① 兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会

基本方針策定に向け、令和4年5月23日に知事及び関係7市長^(※)からなる推進協議会を開催し、各市の課題認識と今後の進め方を共有

※神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、淡路市、洲本市、南あわじ市

今後、年度内に開催する推進協議会において基本方針を策定し、ベイエリア活性化に向けて先行的に実施するプロジェクトを決定

② 企画委員会

基本方針原案作成に向け、学識経験者、民間企業からなる企画委員会を開催し、ベイエリア活性化のコンセプトや基本方針の骨子案を検討

今後、基本方針原案及びプロジェクトについて検討予定

開催回数 4回程度（3回開催済み）

③ ワーキング会議

企画委員会で検討したコンセプトを踏まえたプロジェクトを検討するため、学識経験者、民間企業、行政機関からなるワーキンググループをテーマ毎に組織し、令和4年12月までに、土地利用、誘客、阪神地域、淡路島地域のテーマ別に計6回開催

イ 海上交通の実証実験

万博開催を見据えた海上交通の充実を図るため、船舶による移動時に、船内での会議開催や観光面を意識したコンテンツを含めたクルージングMICEを実施

<R4実績（R4.12末時点）>

実施日：令和4年6月27日（月）

航路：HAT神戸～（中突堤経由）～あわじ交流の翼港

参加者：約100名

内容：（船上）伝統芸能「能」の体験・鑑賞、ブリーフィング
（淡路島）島内活動団体や企業の現地視察、意見交換



御座船安宅丸



船上「能」体験・鑑賞会



電動キックボード体験会(中突堤)

<民間事業者による神戸大阪航路の新規就航に向けたモニタークルーズ>

実施者：株式会社神戸クルーザー

実施日：令和4年11月18日（金）

航路：神戸港中突堤～大阪港天保山

参加者：約140名

内容：操舵室見学、真珠加工に関する学習等



ルミナス神戸2



真珠加工品の展示